

市 民 交 流 課

○ 市民交流関係

1 市民活動促進事業

(1) いせ市民活動センターの管理運営

平成16年4月に開設をし、同年7月から、指定管理者制度を導入して公設民営により運営している。

令和元年度は、次期（第6期）指定管理更新に向けて、準備を行った。第6期は、施設類型別計画による移転スケジュールを踏まえ、指定管理期間を2年間とし、公募は行わず、現行の指定管理者を指定した。

期 間	委 託 金 額	指定を受けた管理者
<第1期> 自 16. 7. 1 至 17. 3. 31	円 7,828,000	特定非営利活動法人 いせコンビニネット
<第2期> 自 17. 4. 1 至 21. 3. 31	48,202,000	〃
<第3期> 自 21. 4. 1 至 24. 3. 31	46,777,000	〃
<第4期> 自 24. 4. 1 至 29. 3. 31	59,832,000	〃
<第5期> 自 29. 4. 1 至 2. 3. 31	41,177,000	〃
<第6期> 自 2. 4. 1 至 4. 3. 31	29,300,000	〃

ア いせ市民活動センター運営事業

- ・市民活動の拠点として、また中間支援施設としての市民公益活動の相談、ホームページ、SNS、情報誌（「パルティ」年4回発行）等広報ツールを活用し、市民活動に関する情報の収集及び提供等を行った。
- ・市民活動を深く広めるため、市民及び団体との交流事業を行った。

年 月 日	内 容
元. 8. 4	第6回「ダンスワールドin伊勢」（注）
元. 8. 4	第25回ミュージックコミュニケーション（注）
元. 8. 17	登録団体交流会
元. 10. 26	チラ - 1グランプリ 主催：みえイーパーツリユースPC寄贈プログラム（県内中間支援団体との協働）

元.10.30	救急救命講習会
元.11.30	NPOグランプリ（みえ市民活動ボランティアセンターとの協働）
元.12.14	第26回ミュージックコミュニケーション（注）
2.2.9	第2回チラシコンテスト（登録団体とまちづくり協議会が対象）
2.2.25	第16回みえイーパーツリユースPC寄贈プログラム（県内中間支援団体との協働）
2.3.21	第10回いせ市民活動フェスティバル （新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止）

（注）「いせ市民活動センター災害復旧支援プロジェクト」（通称、つながりプロジェクト）
のためのチャリティーイベントとしても開催

- ・ワーキングスペースに印刷機、コピー機を設置するとともに、会議スペース、フリースペース、情報スペースを開放し、市民活動を支援した。

イ センター管理業務

施設利用の登録、使用許可、施設・設備及び機器の維持管理を行った。

（施設稼働状況）

新型コロナウイルスの影響により、3月の利用が減少した。

	北 館				南 館		
	平均稼働率				利用者数	平均稼働率	利用者数
	多目的ホール	A会議室	B会議室	1 Fホール			
26.4.1 ～ 27.3.31	% 38.5	% 47.1	% 57.1	% 32.7	人 48,841	% 25.1	人 16,785
27.4.1 ～ 28.3.31	31.9	42.8	49.5	27.8	43,031	26.2	15,130
28.4.1 ～ 29.3.31	37.1	48.6	54.3	32.6	43,911	28.7	15,623
29.4.1 ～ 30.3.31	34.6	45.9	49.7	39.7	46,014	26.1	18,762
30.4.1 ～ 31.3.31	32.5	42.3	48.9	35.7	35,737	20.7	14,170
31.4.1 ～ 2.3.31	30.5	42.6	52.8	29.3	32,232	17.7	13,641

平均稼働率・・・稼働実績時間数/[稼働可能時間(11時間)×稼働可能日数]×100

（登録団体数）

基準日	27.3.31	28.3.31	29.3.31	30.3.31	31.3.31	2.3.31
登録団体数	164	169	174	184	181	179

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
岩淵1丁目 地内	(注) いせ市民活動センター受電設備 改修工事	受電設備改修 一式	円 2,593,800	元. 10. 25	2. 1. 22
〃	いせ市民活動センター北館階段手すり 新設工事	手すり設置工事 一式	481,800	2. 2. 25	2. 3. 25

(注) 営繕課施行

2 伊勢のまつり開催事業

市民が「見て」、「参加して」楽しめる行事として、67団体の代表者等からなる実行委員会にて企画したが、台風の接近に伴い、2日とも中止となった。

<実施を予定していた内容>

- (1) 日 時 令和元年10月12日(土) 午前9時40分～午後9時00分
令和元年10月13日(日) 午前9時40分～午後5時40分
- (2) 場 所 高柳商店街周辺～県道鳥羽松阪線(曾祢交差点)～伊勢市駅周辺
- (3) 内 容
- ・幼稚園児のマーチング、小学生の鼓笛等のパレード、御木曳車の運行
 - ・ねぶた飾り車の運行、楽器演奏、ダンス、マジック等のパフォーマンス、手筒花火
 - ・東京ディズニーリゾート・スペシャルパレード
 - ・市内団体・事業者を中心とした展示・販売ブース
- (4) 参 加 者 出展・出店ブースの申込みが多かったため、市内団体を優先し抽選を行った。
- | | | |
|-------|---------|--------|
| パレード | 延べ34団体 | 3,865人 |
| イベント | 延べ38団体 | 1,167人 |
| 出展・出店 | 延べ148団体 | 1,103人 |
- (5) そ の 他 通常時のボランティア(案内所、設営・片付け等)約300人に加え、東京ディズニーリゾート・スペシャルパレード警備ボランティアとして約150人の協力を得ていた。

3 伊勢市矢持会館管理事業

農林漁業体験実習館を、平成23年4月1日から名称を変更し、指定管理者制度を導入して公設民営の集会施設として運営している。地域住民のふれあいの場に供し、交流活動を通じた地域づくりの推進を図っている。

- (1) 指定管理者 矢持町下村区
- (2) 指定管理料 272,500 円 (年額)
- (3) 指定管理期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日
- (4) 利用者数 1,979 人 (令和元年度)

○ コミュニティセンター関係

1 地区コミュニティセンター維持管理

地域社会づくりを推進するための地域活動の場に供するとともに、市民の生活文化の向上及び福祉の増進を図るため、地区コミュニティセンターを設置している。地域活動のための場として地域住民が会議室及び図書室を利用している。

コミュニティセンター使用状況

(1) 神社地区コミュニティセンター (みなとふれあいセンターに併設)

図書室利用状況	
利用者数	貸出人数
人 2,271	人 438

(2) 大湊地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	利用者数	貸出人数
件 12	件 29	件 41	人 598	人 1,528	人 1,105

(3) 浜郷地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	利用者数	貸出人数
件 156	件 9	件 165	人 1,944	人 150	人 845

(4) 宮本地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	利用者数	貸出人数
件 207	件 102	件 309	人 3,402	人 117	人 264

(5) 豊浜地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	利用者数	貸出人数
件 41	件 36	件 77	人 862	人 95	人 212

(6) 北浜地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	利用者数	貸出人数
107 件	53 件	160 件	1,876 人	209 人	283 人

(7) 城田地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	利用者数	貸出人数
243 件	93 件	336 件	5,228 人	552 人	701 人

(8) 沼木地区コミュニティセンター・伊勢市沼木農村環境改善センター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室	生活研修室	計	利用者数	利用者数	貸出人数
73 件	49 件	122 件	2,322 人	139 人	215 人

○ 国際交流事業関係

市民ボランティア及び外国籍を持つ人々と「ともに暮らす国際交流のまちづくり」を推進した。

(1) 外国人住民への支援

ア 外国人研修制度により来日した技能実習生対象の説明会を開催（6回）

イ 「外国人をサポートするための避難所運営訓練」等の開催

三重県国際交流財団に委託し、災害発生時の外国人住民への情報提供、避難所運営に関する実践的な訓練や外国人住民を対象とした防災説明会を行った。

(ア) 外国人住民対象の防災説明会

- ・日 時 令和元年10月26日（土）14：00～16：30
- ・場 所 伊勢市防災センター2F 防災研修室及び3F 防災体験学習室
- ・対 象 外国人（市内在住・在勤・在学）
- ・参加人数 109人

（中国59人、ベトナム38人、ミャンマー6人、タイ4人、インドネシア2人）

(イ) 外国人受入れのための避難所運営に関する研修会

県内在住外国人（ベトナム1人、タイ1人、フィリピン4人）に外国人避難者役になっていただき、避難所受付での対応を中心に研修を行った。

- ・日 時 令和2年2月8日（土）13：00～16：00
- ・場 所 伊勢市防災センター4F 防災多目的ホール
- ・対 象 避難所担当職員、まちづくり協議会関係者（明倫、東大淀、小俣）他
- ・参加人数 30人（うち、まちづくり協議会関係者15人）

ウ 外国人全世帯への情報提供

日本語教室案内、新型コロナウイルス感染症拡大防止チラシ、その他生活に関わる情報等を市内在住外国人全世帯、835世帯へ提供した。

エ 三重県市町多文化共生ワーキングへの参加

外国人の定住化が顕著になる中、県内の外国人住民と共生する施策を考えるための多文化共生ワーキングが三重県及び10市町のメンバーにより開催され、計11回参加した。

(2) 伊勢市国際交流協会との協働

国際交流事業を通して、市民と外国の人々との交流、親善の促進と国際相互理解の増進を図り、世界平和の理念の達成に資するとともに、国際感覚あふれるまちづくりに寄与することを目的として活動している。市は、事務局としてその活動を支援し、市民とともに国際交流・多文化共生に関する事業を推進している。

令和2年3月末会員数 個人会員71人、団体会員5団体、企業会員1企業

主な事業 ・外国人住民のための日本語教室（いせ日本語教室）

場 所 いせ市民活動センター南館2階

日 時 毎週火曜日 10:00～11:30 39回開催

毎週木曜日 19:00～20:30 41回開催

毎週日曜日 10:00～11:30 13回開催

※日曜日開催は11月から開始

学習支援ボランティア 延べ1,067人

学習者（外国人） 延べ 793人

・協会趣旨普及事業

外国語講座（韓国語・ベトナム語）を開催した。

・交流会の開催

外国料理教室（年1回）や外国人との交流イベント等を開催した。

・国際関係団体との連携

災害時外国人対応事業や国際交流イベント事業へ委員として参加した。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年2月29日以降のイベントを中止した（外国料理教室1回、他イベントへの参加2回）。

(3) 伊勢市国際交流フェスティバルの開催

市民の国際感覚の醸成を目的として、市内外の国際交流・多文化共生関係団体で構成する伊勢市国際交流フェスティバル実行委員会を結成し、令和2年3月8日に伊勢市ハートプラザみそにて「伊勢市国際交流フェスティバル」の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

○ 災害ボランティアセンター関係

1 災害ボランティア支援事業

市と市社会福祉協議会が関係団体などと協働して運営する市災害ボランティアセンター（以下「センター」という。）に関して、有事の際に円滑な運営ができるよう、関係団体との連携や新たな人材を育成するための取組や、センターの運営者研修等を行った（市社会福祉協議会への負担金により実施）。

（１）関係団体との連絡会

- ・開催日 令和元年 7月18日（木）
- ・会場 伊勢市ハートプラザみその 2階 保健会議室
- ・参加人数 22人

（２）台風19号災害支援活動

被災情報のあった地域に加え、平成29年度の浸水地域への現地調査を実施した。
また伊勢市楠部町にて災害支援活動（清掃、家財道具の片付け等）を実施した。

- ・実施日時 令和元年 10月13日（日）
- ・参加者 センター担当市職員及び協力団体
（みえ防災市民会議、株式会社AS設備工業）
合計8人

（３）台風19号災害義援金募集活動

伊勢市ボランティア連絡協議会、いせ市民活動センターと共催で、街頭募金等により義援金の募集を行った。

集まった義援金は、日本赤十字社へ渡した。

- ・実施期間 令和元年 10月27日（日）～11月24日（日）
- ・義援金の額 249,760円

（４）災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害時にセンターの運営をスムーズに行えるよう、人材を養成した。

- ・開催日 令和元年12月15日（日）
- ・会場 皇學館大学 倉陵会館（学生食堂）
- ・修了者数 15人

（５）伊勢市災害ボランティアセンター運営者スキルアップ研修会

養成講座の修了者及び市内関連団体を対象に、災害時に判断を求められる事柄について研修を行った。

- ・開催日 令和元年12月15日（日）
- ・会場 皇學館大学 倉陵会館（学生食堂）
- ・受講者数 44人

（６）伊勢市災害ボランティアセンター運営訓練

養成講座の修了者及び市内関連団体を対象に、模擬訓練を行った。

- ・開催日 令和2年1月18日（土）13：00～16：30
- ・会場 伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール他
- ・参加人数 63人

○ 男女共同参画関係

1 男女共同参画に関する啓発記事の掲載

男女共同参画に関する意識啓発のため、「広報いせ」紙面を活用し、公募市民3人の企画編集による啓発記事「めざそや！共同参画」を年3回掲載した。

発行日	内 容
7月1日号	・生きがいを持って、働きたい ・分業制を取り入れ、みんなが笑顔に（有限会社ウェルフェア三重）
10月15日号	・社員が働きやすい職場づくりを ・「男性も育児休暇」が当たり前！（株式会社マスマヤ）
2月15日号	・働きやすい環境で個々の能力を発揮 ・従業員の意識調査を、働き方改革に活かす （シンフォニアテクノロジー株式会社 伊勢製作所）

2 男女共同参画推進事業委託

「伊勢市男女共同参画都市宣言」「伊勢市男女共同参画推進条例」の理念を広く市民に周知するとともに、「第3次伊勢市男女共同参画基本計画」の実現に向け、各種の取組を行った。主に市民向けの啓発事業の企画運営は、市民団体「NPO男女共同参画れいんぼう伊勢」に委託した。

（1）三重県内男女共同参画連携映画祭の開催

男女共同参画を推進するために、三重県内の男女共同参画センター5館と20市町が連携し、映画祭を開催した。

（伊勢市での開催状況）

開催日	開催場所	内 容	参加人数
元. 7. 7	伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール	映画「家族はつらいよⅢ 妻よ薔薇のように」上映会	人 320

（2）パートナーの日の啓発

男女がお互いを思いやり、感謝する日として条例で定めた「パートナーの日（8月17日）」を広く市民に周知するため、啓発事業を実施した。

ア 講演会の開催

開催日	開催場所	内容	参加人数
元. 8. 3	伊勢市ハートプラザみその多目的ホール	8・17 パートナーの日啓発事業 谷口真由美講演会 講師：谷口真由美さん 〈法学者〉 演題：「おばちゃん目線で見 る日本の未来～みんなハッ ッピーに暮らすには～」	人 248

イ 料理教室の開催

開催日	開催場所	内容	参加人数
元. 9. 7	伊勢市生涯学習センター調理室	地元のおいしい魚と野菜を 使って！パートナーと一緒 に料理を楽しもう！ (農林水産課との共同企画) 講師：伊勢湾漁業協同組合職 員	人 20 (10組)

ウ 街頭啓発

実施日	実施場所	配布数	内容
元. 8.17	・ミタス伊勢 ・ホームセンターバロー	枚・個 300	パートナーの日啓発チラシ・啓発 用ウェットティッシュの配布

エ その他の啓発事業

実施日	実施場所	内容
元. 8.10	伊勢志摩ホームニュース	「8・17 パートナーの日」新聞広告掲載
元. 8. 9 ～ 8.16	市役所市民ホール	パネル展示、啓発用ウェットティッシュの配布

(3) 男性の育児参加促進

父親の子育てへの参加促進と親子がふれあう機会を提供した。

開催日	開催場所	内容	参加者
元. 7.14	伊勢市ハートプラザみその教養娯楽室	「パパのための育児力UP講座 &ママたちへの育児ヒント」ベ ビーマッサージ、赤ちゃんとの ふれあい講座 (対象：赤ちゃん と父親)	組 8

元. 7.14	伊勢市ハートプラザみその保健会議室	「パパのための育児力UP講座 & ママたちへの育児ヒント」絵本と子育てのおはなし会（対象：母親）	人 6
元. 12.22	伊勢市ハートプラザみその多目的ホール	親子映画祭 ・男女共同参画電子紙芝居、クイズ ・映画「グリンチ」上映	計 250 人 大人 112 人 子ども 138 人

(4) れいんぼうカフェ「防災編」の開催

男女共同参画の視点で防災・減災について考える機会を提供した。

開催日	開催場所	内容	参加人数
2. 2.23	伊勢市防災センター 防災研修室	“もしも”のときにきっと役立つ！ れいんぼうカフェ「防災編」～ 自宅避難って？ソナエノゴハン で安心！～ 講師：大須賀 由美子さん (だんだんキッチン代表・ 防災士)	人 30

(5) その他男女共同参画に関する啓発

市民に広く男女共同参画を啓発する活動を行った。

開催日	開催場所	配布数	内容
元. 10.20	おばた参宮市	個 253	チラシ、啓発物品などの配布、子ども・大人用アンケート実施

3 男女共同参画審議会の開催

男女共同参画に関する施策の実施状況等に対して意見を徴するため開催した。

	開催日	内容	出席委員数
第1回	元. 6.13	・平成30年度事業実施状況報告書（案）について ・令和元年度の取り組みについて	人 12/15
第2回	2. 2.19	・平成30年度事業実施状況報告書（案）について ・令和元年度事業報告	13/15

4 企業に向けた啓発

企業における男女共同参画の推進のため、企業訪問を実施した。また、事業者等における男女共同参画の取組を促進するため、積極的に取り組んでいる事業者を表彰した。

(1) 企業訪問

実施日	訪問先	内容
元. 11. 28 ～12. 13	株式会社岩戸屋 他13社	・働きやすい職場づくり、休暇制度の充実・利用促進等の啓発

(2) 男女共同参画推進事業者等の表彰

- ・仕事と生活の調和実践賞
シンフォニアテクノロジー株式会社伊勢製作所

5 女性活躍推進事業

(1) 働く女性のキャリアアップセミナーの開催

働く女性等を対象に働く場で必要な知識の習得と自身のキャリア形成に関する意識の向上を促すためのセミナーを開催した。

- 開催日 令和元年12月1日(日)
- 開催場所 伊勢市生涯学習センター いせトピア研修室
- 内容 第1部 ワーク型セミナー
講師：吉居 理奈子さん(株式会社ライフスタイル・ウーマン代表取締役)
- 第2部 パネルディスカッション
コーディネーター：吉居 理奈子さん
パネリスト : 小林 聖子さん(中部電力株式会社)
パネリスト : 秋吉 しのぶさん(株式会社EBILAB)

参加者 27人

(2) 女子学生の就活応援キャリアデザインセミナーの開催

就職前の大学生を対象に自身の将来を見据え、キャリアデザインを描くことへの意識を高める講座を開催した。

- 開催日 令和2年2月18日(火)
- 開催場所 皇學館大学7号館733教室
- 内容 第1部 ワーク型セミナー
講師：松村 亜木さん(株式会社ライフスタイル・ウーマン)
- 第2部 パネルディスカッション
コーディネーター：池山 敦さん(皇學館大学教育開発センター准教授)
パネリスト : 男女共同参画推進表彰事業者女性従業員2人
コメンテーター : 松村 亜木さん

参加者 14人

6 DV等被害者にかかる事務

(申出件数)

内 容	新 規	解 除	変 更	継 続
件 数	23 件	12 件	8 件	27 件

7 出会い・結婚支援事業

平成27年10月にオープンした「いせ出会い支援センター」を拠点に、結婚を望む本人や家族からの相談への対応、出会いの場となる婚活イベント等の情報提供、結婚に関する意識啓発に向けたセミナーを開催し、結婚を希望する人が結婚できる地域社会の実現を目指した。

(1) センターの事業内容

ア 業務委託

委 託 業 務 名	委 託 期 間	委 託 金 額	委 託 業 者
いせ出会い支援センター 運営にかかる業務委託	自 31. 4. 1 至 2. 3. 31	円 10, 120, 932	株式会社デルタスタジオ

イ 利用者件数

性別	来 所	電 話	メール	相 談	チラシ	計
男性	594 件	54 件	160 件	72 件	1, 249 件	/
女性	746	68	128	50		
計	1, 340	122	288	122	1, 249	3, 121 件

ウ 婚活イベントの開催

開 催 日	会 場	内 容	参加人数
元. 7. 15	三重県営サンアリーナ レセプションルーム	イベント名：「サマーパーティ」 32～42歳の市内及び定住自立圏域 内市町の事業所に勤めている方を 対象に、グループトーク、フリータ イム、連絡先カードの交換など	45 人
元. 10. 27	三重県営サンアリーナ レセプションルーム	イベント名：「ハロウィンパーティ」 25～45歳の市内及び定住自立圏域 内市町の事業所に勤めている方を 対象に、自己紹介、フリータイム、 連絡先カードの交換など	34

2. 2. 2	三重県営サンアリーナ レセプションルーム	イベント名：「バレンタインパーティ」 25～45歳の市内及び定住自立圏域 内市町の事業所に勤めている方が 対象 第1部41歳以上、第2部31～40歳、第 3部20歳～30歳の3部制、自己紹介、 フリータイム、投票など	人 51
---------	-------------------------	--	---------

エ セミナー等の開催

結婚を希望する本人やその親に対しての結婚・婚活支援セミナーや独身者向けにスキルアップを目的にしたセミナーを、センター内で開催した。また、いせ若者応援ネットワーク「いせむすび」登録企業等に出向き、従業員向けにセミナーを開催した。

オ フリーマガジン「いとし・いせ」の発行

いせ出会い支援センターをPRするため、結婚・出産・育児に関する情報を掲載した地域密着型の情報紙を毎月発行した。

発行部数：3,500部／月

(2) 企業の結婚支援促進事業

市内及び定住自立圏域内市町に事業所を置く企業に、従業員の結婚を応援し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいただくよう、いせ若者応援ネットワーク「いせむすび」への登録を促進した。また、企業の従業員から「仕事と結婚・子育てとの両立」についてアドバイスを得て、大学生に「仕事と結婚・子育て」の希望をかなえるための課題や自身のライフプランについて考えてもらう機会を提供した。

ア 登録企業数 202社(2.3.31現在)

イ 希望がかなうライフプランセミナーの開催

開催日	会場	内容	参加人数
元. 10. 6	皇學館大学	希望がかなうライフプランを考えるワークショップ～仕事と結婚・子育てとの両立～ ファシリテーター：池山 敦さん（皇學館大学教育開発センター准教授）	人 大学生 2 社会人 9
元. 10. 23	皇學館大学	定住自立圏共生学Ⅱ 定住自立と少子化対策 いせ出会い支援センター、企業による婚活支援 について ほか	大学生 100
元. 10. 30	皇學館大学	定住自立圏共生学Ⅱ 定住自立と少子化対策 いせむすび登録企業向けに行う事業について	大学生 100

元. 11. 6	皇學館大学	定住自立圏共生学Ⅱ 定住自立と少子化対策 いせむすび登録企業向けに行う事業について	人 大学生 100
----------	-------	--	--------------

(3) 伊勢市版婚姻届等の提供

少子化対策及びシティプロモーションの一環として、専用サイト上で地域の生活情報や観光情報の発信及び伊勢市独自の婚姻届・出生届をダウンロードできるようにし、結婚・出産のイメージアップを図った。

ア 業務委託

委託業務名	委託期間	委託金額	委託業者
伊勢市版婚姻・出生届の提供及び情報発信業務委託	自 31. 4. 1 至 2. 3. 31	円 100,000	株式会社リクルート

イ ダウンロード数

婚姻：2,121 件

出生： 108 件

○ 自治会関係

1 区長謝礼事業

市内 175 自治会の活動について、行政委員等その候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。

報償費総額 7,436,667 円

2 自治会活動補助事業

(1) 振興助成金事業

市内 64 の地区の円滑な運営と健全な自治会活動を推進するため、助成金を交付した。

	自治会数	対象世帯数	振興助成金		
			平等割	世帯割	計
本庁管内	自治会 10	世帯 1,540	円 500,000	円 539,000	円 1,039,000
支所管内	26	9,709	1,300,000	3,398,150	4,698,150
小俣総合支所管内	28	8,236	1,400,000	2,882,600	4,282,600
計	64	19,485	3,200,000	6,819,750	10,019,750

(2) 元気なまちづくり協働事業

市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が各地域において主体的に取

り組む事業に対して、補助金を交付した。

補助金額の算定は、対象事業費に3分の2を乗じた額か、世帯数に応じて算出された額のいずれか低い額を限度額として交付した。

(対象事業)

ア	地域に根ざした伝統文化の継承事業	9件
イ	地域の特性を生かしたイベントなどの地域おこし事業	3件
ウ	地域内の清掃美化等の環境保全事業	29件
エ	補導や啓発、巡視活動等の青少年育成事業	5件
オ	訓練や啓発、巡視活動等の防犯・防災事業	5件
カ	少子高齢化社会対策やバリアフリー社会実現のための社会福祉事業	5件
キ	住民の交流を通じ、地域コミュニティを活性化するための地域交流事業	55件
ク	その他市長が特に必要と認める事業	0件
		計 111件

(対象自治会) 65自治会

交付申請・決定 3,144,000円(54自治会)

交付確定 2,983,000円(53自治会)

(3) 広報紙配布等事業

市の広報紙等の配布事業等を行う自治会に対して、交付金を交付した。

対象自治会 65自治会

交付金額 38,220,200円

3 コミュニティ助成事業

(一財)自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源とした事業で、コミュニティ活動の健全育成を図り、コミュニティ組織である自治会等にコミュニティ助成事業補助金を交付した。

一般コミュニティ助成事業

自治会名	補助金額	事業名
東大淀町会	2,300,000円	祭り用具購入
光の街区自治会	2,500,000円	テント他コミュニティ備品の整備
計	4,800,000円	

4 自治会コミュニティ放送設備整備補助事業

地域住民のコミュニティ活動の推進を図るため、地域活動の活性化及び地域内の情報伝達手段として、自治会コミュニティ放送設備等を整備する自治会に対して補助金を交付した。

交付自治会数 14自治会(14件)

交付金額 5,305,000円

自治会名	補助金額	事業名
	円	
光の街区自治会	899,000	【新規】拡声放送設備整備事業
小計	899,000	1自治会(1件)
坂東自治会	3,370,000	【新規】戸別受信機放送設備整備事業
湯田自治区	133,000	【追加】〃
いせ上野台自治会	113,000	【追加】〃
掛橋自治会	85,000	【追加】〃
宮前自治会	33,000	【追加】〃
今一色区自治会	16,000	【追加】〃
坂東自治会	438,000	【追加】〃
上惣自治区	51,000	【追加】〃
新出自治区	16,000	【追加】〃
中小俣自治区	17,000	【追加】〃
朝熊町自治会	16,000	【追加】〃
東新村自治会	83,000	【追加】〃
六軒屋自治会	35,000	【追加】〃
小計	4,406,000	12自治会(13件)
合計	5,305,000	13自治会(14件)

5 自治会集会所建設等事業補助金

地域のコミュニティ活動の場を確保することや自治会の負担軽減、集会所の長寿命化のため、自治会等が活動拠点として所有し、維持管理する集会所の改築、修繕及びバリアフリー改修を行った自治会に対し補助金を交付した。

交付自治会数 4自治会

交付金額 6,866,000円

自治会名	補助金額	補助種別
	円	
神久連合町内会	5,339,000	改築
小計	5,339,000	1自治会
磯町自治会	235,000	バリアフリー改修

宮町自治連合会	円 297,000	バリアフリー改修
小 計	532,000	2 自治会
通町自治会	995,000	空調設備整備
小 計	995,000	1 自治会
合 計	6,866,000	4 自治会

6 伊勢市総連合自治会事務

各自治会による自治活動について連絡協議し、自治会相互の親和と市民の福祉増進に努めるとともに、市政の発展に寄与することを目的として活動している伊勢市総連合自治会へ補助金を交付した。(補助金 1,400,000 円)

7 認可地縁団体等関係

(1) 地方自治法第 260 条の 2 の規定に基づき、自治会等地縁による団体の法人格取得について、認可事務を行った。

令和元年度 地縁団体認可団体数 1 団体 (累計認可団体数 95 団体)
(栗野区自治会)

(2) 地方自治法第 260 条の 38 の規定に基づき、認可地縁団体が所有する不動産に係る登記を特例で行うため、一定の要件を満たした場合について申請を受け付け、公告事務を行った。

令和元年度 公告申請団体数 1 団体 (神田町内会：公告 2 件)

○ 地域自治推進関係

1 地域自治推進事業

(1) 「ふるさと未来づくり」の取組

平成 27 年度から本格稼働した「ふるさと未来づくり」制度を推進し、地域自治の実現を図った。市と地域とのパイプ役として各小学校区に地区担当職員を配置し、事業の運営に必要な情報提供や助言を行い、まちづくり協議会の活動を支援した。

<地区担当職員>

部課長級職員 86 人

(内訳：進修、早修、大湊、佐八、宮山、豊浜東、豊浜西、北浜、東大淀、小俣、明野は各 3 人、修道、明倫、有緝、中島、神社、浜郷、城田、四郷、沼木、二見、今一色、御薊学区は各 4 人、厚生 5 人)

(2) 広報活動

「広報いせ」でシリーズ「わたしたちの地域だから、わたしたちでやりたいことがある」を隔月連載することにより、市民への制度周知を図るとともに、ケーブルテレビ行政番組でもまちづくり協議会の活動を紹介した。

(3) 研修会、講演会等の開催

ア 「まちづくり研修会」の開催

地域の自主自立のまちづくりを推進するため、市事業の紹介及び意見交換を行った。

開催日	令和元年10月23日（水）
開催場所	御菌公民館 講堂
内 容	・令和2年度ふるさと未来づくり資金について ・市事業（福祉事業、国体開催）について ・意見交換
講 師	障がい福祉課、高齢者支援課、国体総務課職員
参加者	まちづくり協議会 41人

イ 「まちづくり講演会」の開催

「ふるさと未来づくり」に対する理解を更に深めるとともに、市全体の気運の醸成を図るため、まちづくり講演会を開催した。

開催日	令和元年11月2日（土）
開催場所	伊勢市生涯学習センター いせトピア多目的ホール
演 題	まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するために
講 師	川北 秀人さん（IIHOE「人と組織と地球のための国際研究所」代表者 兼ソシオ・マネジメント編集発行人）
参加者	まちづくり協議会、一般市民等 約200人

ウ 「ふるさと未来づくり意見交換会」の開催

2まちづくり協議会の活動報告と「防災」「福祉」「広報」のテーマにわかれて、意見交換会を開催した。

開催日	令和2年2月6日（木）
参加者	まちづくり協議会 42人

エ 「地区担当職員会議」の開催

「ふるさと未来づくり」を説明するため、地区担当職員向け研修会を開催した。

開催日	令和元年6月12日（水）
内 容	地区担当者制度、ふるさと未来づくり資金の見直し、まちづくり協議会への今後の関わり方について

オ 「職員向け研修会」の開催

「ふるさと未来づくり」に対する理解を更に深めるため、職員向け研修会を開催した。

開催日 令和元年8月8日（木）

内 容 「ふるさと未来づくり」の制度概要や地域の取組について

(4) まちづくり協議会への財政支援

まちづくり協議会が実施する事務事業の財源として、ふるさと未来づくり資金を交付した。

また、まちづくり協議会が実施する「防災機能強化等への取組み事業」に対し、活動事業費（臨時特例分）を交付した。

交付金額：168,589,444円

- ・事務運営費、活動事業費（基本額）69,181,168円（23団体）
- ・活動事業費（臨時特例分）3,850,776円（9団体、11件）
- ・一括交付金化事業 95,557,500円（16団体）

2 市民活動補償制度

「ふるさと未来づくり」での活動を含め、市民が安心して活動を行えるよう、活動拠点が伊勢市にある市民団体等の公益活動中に起きた傷害事故や賠償責任事故を損害保険により、補償する制度を平成23年度から導入している。

保険の名称 市民活動補償制度費用保険

保険期間 令和元年6月1日午後4時から令和2年6月1日午後4時まで

契約金額 1,039,590円

対象事故 傷害事故、賠償責任事故、特定疾病事故、一般疾病事故

適用件数 4件（傷害補償4件）

○ 合併調整関係

伊勢地区、二見地区、小俣地区、御菌地区の4つの地域審議会正副会長を対象に、地域審議会正副会長会議を開催した。

開催日 令和元年10月24日（木）

開催場所 御菌総合支所2階2-4会議室

内 容 第8期（令和2年4月1日～令和3年3月31日）地域審議会公募委員の募集及び令和元年度各地区地域審議会の案件について

戸 籍 住 民 課

○ 戸籍住民係

1 住民関係

(1) 住民基本台帳世帯数（令和2年3月31日現在）

区 分	日本人	外国人	混合世帯	計
世 帯 数	54,652 世帯	743 世帯	220 世帯	55,615 世帯

(注) 伊勢市総数

(2) 住民基本台帳人口（令和2年3月31日現在）

区 分	日本人	外国人	合 計	
人 口	男	58,765 人	469 人	59,234 人
	女	65,162	647	65,809
	計	123,927	1,116	125,043

(注) 伊勢市総数

(3) 住民異動状況（令和2年3月31日現在）

区 分	件 数	
届	転 入	3,032 件
	転 出	3,305
	転 居	2,051
	世 帯 変 更	1,351
出	そ の 他	24
	職	出 生
権	死 亡	1,502
	職 権 消 除	5
	修 正	2,079
計	14,149	

(注) 伊勢市総数

2 戸籍関係

(1) 戸籍数及び本籍人口（令和2年3月31日現在）

戸 籍 数	61,025 戸籍
本 籍 人 口	145,561 人

(注) 伊勢市総数

(2) 届出事件の状況

事件の種類	届 出	他市町村からの送付	合 計
出 生	662 件	404 件	1,066 件
婚 姻	683	910	1,593
離 婚	162	113	275
死 亡 ・ 失 踪	1,237	371	1,608
養 子 縁 組	57	31	88
養 子 離 縁	12	9	21
国籍の得喪・留保	5	14	19

本籍表示の変更	241 件	271 件	512 件
上記以外で氏・名の変更が生じるもの	228	134	362
上記以外で身分に変更が生じるもの	20	10	30
訂正・追完	63	8	71
不受理申出	28	9	37
その他	2	4	6
計	3,400	2,288	5,688

(3) 戸籍事務処理状況

区 分	件 数
新 戸 籍 編 製	848 件
戸 籍 全 部 消 除	1,009
違 反 通 知	8
戸籍の再製・補完	0
そ の 他	2
計	1,867

(4) 人口動態調査票作成状況

区 分	件 数
出 生	851 件
死 亡	1,549
死 産	13
婚 姻	730
離 婚	190
計	3,333

(注) 人口動態調査令(昭和21年勅令第447号)に基づき保健所へ提出。伊勢市総数

(5) 相続税法による死亡通知件数 1,550 件

(注) 相続税法(昭和25年法律第73号)第58条に基づき税務署へ通知。伊勢市総数

(6) 埋火葬許可状況

区 分	大 人	小 人	胎 児	計
埋 火 葬	1,133 件	0 件	8 件	1,141 件

(7) 民刑事項等処理状況

区 分	件 数
犯罪関係通知	274 件
民事関係通知	21
身元事項照会	2,377
計	2,672

(注) 伊勢市総数

(8) 伊勢市版出生届・婚姻届取扱件数 (注) 伊勢市総数

出生届 8 件 ・ 婚姻届 272 件

3 証明関係

(1) 住民票関係の交付等の状況

区 分		有 料	無 料	計	収 入 金 額	
住 民 票 の 写 し	本庁	27,554 件 〔1,067〕	3,737 件	31,291 件 〔1,067〕	5,510,800 円 〔213,400〕	
	支所	8,329	9	8,338	1,665,800	
広域交付住民票の写し	本庁	45	0	45	9,000	
	支所	4	0	4	800	
戸籍の附票の写し	本庁	2,060 〔53〕	5,201	7,261 〔53〕	412,000 〔10,600〕	
	支所	552	17	569	110,400	
住民票記載事項証明	本庁	729	23	752	145,800	
	支所	297	1	298	59,400	
住民基本台帳閲覧	本庁	51	2	53	10,200	
	支所	0	0	0	0	
印鑑登録証明	本庁	14,908 〔1,059〕	32	14,940 〔1,059〕	2,981,600 〔211,800〕	
	支所	7,527	30	7,557	1,505,400	
諸 証 明	身 分 証 明	本庁	703	0	703	140,600
		支所	139	0	139	27,800
	そ の 他	本庁	271	152	423	54,200
		支所	43	7	50	8,600
マイ ナンバー	通知カード	本庁	289	104	393	144,500
		支所	64	4	68	32,000
	個 人 番 号 カ ー ド	本庁	35	2,157	2,192	28,000
		支所	0	0	0	0
本 庁 計		46,645 〔2,179〕	11,408	58,053 〔2,179〕	9,436,700 〔435,800〕	
支 所 計		16,955	68	17,023	3,410,200	
合 計		63,600 〔2,179〕	11,476	75,076 〔2,179〕	12,846,900 〔435,800〕	

(注1) [] はコンビニ交付による内数

(注2) 住民基本台帳閲覧は、閲覧用紙1枚(20人まで抽出可能)で1件
住民基本台帳の閲覧団体数 23団体(うち公用 0団体)

(2) 戸籍謄抄本交付等の状況

区 分			件 数			収 入 金 額
			有 料	無 料	計	
戸 籍	全部事項 (謄 本)	本庁	10,507 件 〔218〕	4,312 件	14,819 件 〔218〕	4,728,150 円 〔98,100〕
		支所	2,595	14	2,609	1,167,750
	個人事項 (抄 本)	本庁	2,895 〔148〕	105	3,000 〔148〕	1,302,750 〔66,600〕
		支所	1,016	0	1,016	457,200
	一部事項	本庁	1	7	8	350
		支所	2	3	5	700
	記載事項	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
	計	本庁	13,403 〔366〕	4,424	17,827 〔366〕	6,031,250 〔164,700〕
		支所	3,613	17	3,630	1,625,650
		計	17,016	4,441	21,457	7,656,900
	除 籍 改製原戸籍	全部事項 (謄 本)	本庁	9,732	9,566	19,298
支所			2,211	21	2,232	1,658,250
個人事項 (抄 本)		本庁	77	14	91	57,750
		支所	16	0	16	12,000
一部事項		本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
記載事項		本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
計		本庁	9,809	9,580	19,389	7,356,750
		支所	2,227	21	2,248	1,670,250
		計	12,036	9,601	21,637	9,027,000
受 理 証 明 等		本庁	645 (144)	0	645 (144)	376,950 (201,600)
	支所	8 (2)	0	8 (2)	4,900 (2,800)	
届書記載事項証明	本庁	41	6	47	14,350	
	支所	2	1	3	700	
閱 覧	本庁	0	0	0	0	
	支所	0	0	0	0	
本 庁 計		23,898 (146) 〔366〕	14,010	37,908 (146) 〔366〕	13,779,300 (204,400) 〔164,700〕	
支 所 計		5,850	39	5,889	3,301,500	
合 計		29,748 (146) 〔366〕	14,049	43,797 (146) 〔366〕	17,080,800 (204,400) 〔164,700〕	

(注) () は特別受理証明書、〔 〕 はコンビニ交付による内数

(3) 郵送請求処理件数

区 分	有 料	無 料	返 戻	取 扱 件 数
戸 籍 関 係 証 明	8,686 件	8,707 件	1,356 件	29,436 件
住 民 票 関 係 証 明	5,187	5,022		
諸証明関係(身分証明等)	359	119		
計	14,232	13,848		

(注) 「(1) 住民票関係の交付等の状況」及び「(2) 戸籍謄抄本交付等の状況」の内数

(4) 電子証明書の発行状況(個人番号カードへの記録分)

有 料	無 料	計	金 額
31 件	2,829 件	2,860 件	6,200 円

(5) コンビニ交付

全国のコンビニエンスストア等店舗において各種証明書が取得できるようにすることで、市民の利便性とサービス向上を図った。

取得できる証明書	住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部(個人)事項証明書、戸籍の附票の写し、所得(課税)証明書、課税証明書、非課税証明書
利用可能店舗 (令和2年3月31日現在)	全国のセブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、セイコーマート、イオンリテール、コミュニティ・ストア、エーコープ鹿児島、ミニストップ、ポプラ、イオン北海道、日本郵便、ウエルシア薬局、平和堂、山陽マルナカ、イオン九州、イオンストア九州、丸久、マルト、ジョヴィ、イオン琉球、光洋、マックスバリュ東北、フジ、DCMダイキ、マックスバリュ九州、島忠、スパーク、カスミ、銀ビルストア、マックスバリュ南東北、中部薬品、クリエイトエス・ディー、仁科百貨店、ラルズ、オークワ、サッポロドラッグストア、ココカラファインヘルスケア、たつみ、ユニバース、福井県民生活協同組合、光洋ショップ-プラス(マルチコピー機を設置している店舗に限る。)

4 印鑑登録関係

(1) 印鑑登録数(令和2年3月31日現在) 85,462 件(伊勢市総数)

(2) 印鑑登録事務処理状況(伊勢市総数)

区 分	件 数	
増	登 録	4,018 件
	そ の 他	0
	計	4,018
減	廃 止	201
	亡 失	1,414
	死 亡	1,359
	転 出	1,244
	そ の 他	185
	計	4,403

5 支援措置関係

ドメスティック・バイオレンス等の被害者の保護のための措置として、住民基本台帳法による住民票の写し発行抑止及び戸籍の附票の写し発行抑止を行った。

住民基本台帳事務における支援措置者数（令和2年3月31日現在）

区 分	申 出 者	併せて支援を求める者	合 計
当市での申出受理	37 人	34 人	71 人
他市からの支援要請	68	56	124
計	105	90	195

6 特別永住者関係

特別永住者証明書の交付申請等を受け、法務省へ申請書を送付し、届いた証明書を申請者へ交付した。

特別永住者事務状況（伊勢市総数）

異 動 事 由	件 数	異 動 事 由	件 数
許 可	0 件	再 交 付（交 換 希 望）	0 件
証交付（法施行前未取得）	0	再 交 付（紛 失）	1
証 交 付（切 替）	0	有 効 期 間 更 新	8
再 交 付（汚 損 等）	0	記 載 事 項 変 更	0

7 住居表示事務

住居番号の申請を受け、実地調査を行うなどして住居番号を付定、変更し、それぞれの申請者へ通知した。

新規付定 ※（ ）はうち枝番号の付定数

住 居	事 務 所	事業所等	計
95 件 (17)	0 件 (0)	1 件 (0)	96 件 (17)

変更 ※（ ）はうち枝番号への変更数

住 居	事 務 所	事業所等	計
8 件 (8)	0 件 (0)	1 件 (1)	9 件 (9)

8 自衛官募集事務

自衛隊三重地方協力本部伊勢地域事務所長から依頼を受け、新入隊、入校予定者の激励会、懸垂幕掲示、広報いせ、文字放送を通じての広報等、新規隊員募集の事務補助を行った。

なお、市内から11名（陸上自衛隊9名、航空自衛隊2名）の入隊者があった。

9 伊勢市戸籍住民関係窓口業務等委託

安定した市民サービスと民間事業者の技術と創意工夫を活用したより一層快適な市民サービスを提供するため、窓口業務等を民間事業者に委託した。

令和元年5月から6月に窓口来庁者1,185名に対してアンケートを実施した。アンケート結果は、「窓口サービスの全体的な評価」について、「満足」又は「ほぼ満足」と回答した方が全体の97.8%であり、来庁者の評価が良好であることが確認された。

(1) 業務内容

- ・ 証明書交付請求の受付
- ・ 証明書の発行・交付
- ・ 戸籍届出（出生・死亡・婚姻・離婚等）の受付・入力業務
- ・ 住民異動届の受付・入力業務 等

- (2) 履行期間 平成30年1月1日から令和2年12月31日まで(3年間)
(契約締結日 平成29年8月9日)
- (3) 契約金額 161,640,000円(税抜)
うち令和元年度分 53,880,000円(税抜)
- (4) 委託業者 株式会社エイジェック 名古屋オフィス
愛知県名古屋市中村区名駅一丁目1番1号JPタワー名古屋7階

○ 支所関係

1 住民関係・戸籍関係

(1) 住民票関係・戸籍謄抄本等の交付状況

区 分	神 社 支 所	大 湊 支 所	浜 郷 支 所	宮 本 支 所	豊 浜 支 所
戸 籍	919 件 532,150 円	415 件 227,250 円	1,048 件 598,500 円	486 件 256,050 円	771 件 432,150 円
住民基本台帳 関 係	1,247 249,400	676 135,200	1,717 343,400	1,091 218,000	988 197,600
印 鑑 証 明	877 175,400	508 101,600	1,266 250,000	872 173,600	964 192,400
諸 証 明	39 6,600	12 2,400	21 4,200	16 3,000	15 3,000
マイナンバー (通知カード)	6 3,000	2 0	29 14,000	6 3,000	9 4,500
計	3,088 966,550	1,613 466,450	4,081 1,210,100	2,471 653,650	2,747 829,650

区 分	北 浜 支 所	城 田 支 所	四 郷 支 所	沼 木 支 所	合 計
戸 籍	670 件 378,150 円	791 件 435,550 円	532 件 295,300 円	257 件 146,400 円	5,889 件 3,301,500 円
住民基本台帳 関 係	1,042 208,400	1,267 248,200	808 161,600	373 74,600	9,209 1,836,400
印 鑑 証 明	939 187,800	906 180,600	837 166,800	388 77,200	7,557 1,505,400
諸 証 明	26 5,200	29 5,800	19 3,800	12 2,400	189 36,400
マイナンバー (通知カード)	8 4,000	4 2,000	3 1,000	1 500	68 32,000
計	2,685 783,550	2,997 872,150	2,199 628,500	1,031 301,100	22,912 6,711,700

(注) 戸籍住民係中の3証明関係「(1)住民票関係の交付等の状況」及び「(2)戸籍謄抄本
交付等の状況」の内数

(2) その他の業務

市役所各課の業務、自治会との連絡調整業務、資源回収ステーション業務、図書業務その他の受付業務等の多岐に渡る業務を行い、市街地周辺の住民の利便性とサービス向上を図った。

人 権 政 策 課

○ 人権施策推進事業

1 伊勢市人権施策推進協議会

人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるため、総合的かつ計画的な施策の推進を図ることを目的に関係官庁や市民団体等の代表で平成14年7月11日に設立した「伊勢市人権施策推進協議会」により、官民一体となって、様々な人権問題の解決に向けた取組を実施している。

開催日	事業名	事業内容	備考
元. 6. 7	総会	平成30年度事業報告・決算報告、 令和元年度事業計画（案）・予算（案）の承認 場所 伊勢市役所 東館 5-3会議室	
7. 1 ～12. 15	人権尊重啓発 ポスター・標語 募集事業	ポスター募集事業： 市内小中学校児童生徒から310点の応募 10月8日、10月23日ポスター審査 （市長賞9点、会長賞20点、奨励賞30点選出） 標語募集事業： 市内に在住または通勤通学する15歳以上の方 （中学生を除く）から4点の応募 委員の投票により入賞者を決定 （市長賞1点、会長賞1点選出） 作品展示 11月16日～11月20日イオンタウン伊勢ララパーク 11月22日～11月28日伊勢図書館 11月29日～12月11日伊勢市防災センター 12月14日 人権講演会にて表彰	広報いせ7.15号 で公募 広報いせ1.15号 で優秀作品を掲 載
7. 16	第1回 人権セミナー	演題「犯罪被害者等の人権と支援について」 講師 仲 律子 さん（鈴鹿大学 教授） 場所 伊勢市役所 東館 4-3会議室	参加者40人
9. 21	平和イベント	国際平和デーイベント「平和へのねがい2019～ハ ンドベルの音色にのせて～」 ハンドベル 金城学院大学 合唱 伊勢少年少女合唱団 場所 ハートプラザみその 多目的ホール	参加者280人
10. 17	第2回 人権セミナー	演題「ハンセン病回復者で在日朝鮮人の金泰九さ んとの出会いから自分の生き方を考える」 講師 中村 太志 さん（御園小学校 教頭） 場所 伊勢市役所 東館 4-3会議室	参加者24人

10.30	第1回委員会	人権尊重啓発ポスター・標語募集事業経過報告、 人権セミナー及び人権講演会、街頭啓発について 場所 伊勢市役所 東館 5-3会議室	
11.12	第3回 人権セミナー (市、県と共 催)	演題 「じんけんトーク&コンサート」 (あなたに会えてよかった) 講師 う〜み さん (シンガーソングライター) 場所 伊勢市生涯学習センター いせトピア 多目的ホール	参加者430人
12. 4	街頭啓発	人権週間にあわせ、市民の人権尊重の意識高揚を 目的に、伊勢市人権施策推進協議会委員により啓 発冊子・物品を配布し啓発活動を実施 場所 ぎゅーとら(藤里店・小俣店) イオン伊勢店 イオンタウン伊勢ララパーク みそのショッピングセンター バローミタス伊勢店 ホームセンターバローミタス伊勢店 プライスカット伊勢二見店	参加者35人 配布数1,050個
12.14	人権講演会	講演 「差別や偏見のない人権を尊重した社会づ くりの大切さ」 講師 大場 久美子さん(女優) 場所 生涯学習センター いせトピア多目的ホール	参加者280人
2. 2.15	人権イベント (市と共催)	「第5回 ISE HUMANRIGHTS MOVIE JAM いせ人権映画祭」 場所 生涯学習センター いせトピア 多目的ホール	参加者210人
2.26	第4回 人権セミナー	演題 「障がい者の人権について」 講師 板崎 寿一 さん (三重県障害者支援センター 所長) 場所 伊勢市役所 東館 4-3会議室	参加者30人
3.26	委員会	令和元年度事業(見込)及び決算(見込)報告 令和2年度事業計画(案)及び予算(案) 次年度役員について 書面承認にて実施	
随 時	啓発冊子発行	人権ハンドブックNo.21「障がい者の人権」	2,000部作成
随 時	啓発用物品	啓発用手提げ袋	2,000袋作成

○ 人権啓発推進事業

市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権が守られる心豊かな明るく住みよい地域社会を築いていくことを目的に、次のとおり啓発活動を推進した。

1 各種広報、啓発事業

広 報 啓 発 活 動	内 容	備 考
広報いせ人権情報掲載	人権尊重の理念の普及とその理解を深めてもらうことを目的に、様々な人権情報を掲載し、市民に人権について考える機会を提供した。	随時掲載
地域人権啓発紙の発行	市民館にて地域人権啓発紙を発行。(教育集会所、児童センターほか、課職員が編集に参加) 様々な人権問題をテーマとした記事や施設の活動状況を掲載して、地域住民に人権について考える機会を提供した。	地域人権啓発紙 2紙 毎月発行
人権週間啓発パンフレット及び啓発物品の作成	人権週間をPRし、人権の大切さを広く市民に訴えるため、啓発パンフレットを作成し、人権尊重宣言都市啓発用物品と合わせて、街頭啓発、企業啓発、関係機関窓口、講演会等で配布した。	パンフレット 2,900枚 啓発物品(マグネットバー) 3,500個
人権啓発パンフレット及び啓発物品の作成	市民の人権意識の高揚を図るため、令和元年度啓発活動重点目標を簡潔にまとめた啓発用パンフレット及び啓発物品を作成し、行事等で配布し啓発をした。	パンフレット 3,700枚 啓発物品(ウェットティッシュ) 1,000個 (クリアファイル) 2,100枚
人権学習リーフレットの作成	「『人権』ってなに?～大切な人権について考えてみよう」、「平和と人権～戦争のない平和な世界を～」をテーマにしたリーフレットvol.29、30を発行した。	リーフレット 各 1,300部
差別をなくす強調月間での展示及び懸垂幕、のぼりの掲出	本庁及び各総合支所にて人権パネル展を開催。本庁及び小俣総合支所において懸垂幕を掲出。市役所本庁舎、各総合支所にのぼり旗の掲出。	
企業啓発	差別をなくす強調月間にあわせ、市内企業を訪問し、啓発活動を実施 【実施企業】 ヒメヤ工業(有)、アルファ電子(株)、(株)コーヨーファースト、三洋自動車(株)、(株)日貿、(株)岩戸屋、虎屋ういろ(株)、ユーエスマート(株)、(福)福德会、(福)五十鈴会、森田電機産業(株)伊勢営業所、(株)鳥羽テクノメタル、(福)賀集会、伊勢けいゆう塾保育園	14社訪問 啓発物品、パンフレット配布数 540個

2 人権相談

市民を対象とした、様々な人権問題についての相談を随時受け付け、相談者自らが主体的に解決できるよう情報の提供や助言を行った。

3 人権擁護委員との連携

法務大臣から委嘱を受け、市内各地域で活動している17人の人権擁護委員と連携し人権啓発、人権相談を行った。

○ 隣保館運営事業

周辺地域を含めた地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発、住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談や成人学習講座、福祉介護講座等の諸事業を実施するとともに、これらの活動を通じ日常生活に根ざした啓発活動を行い、住民の交流促進と福祉の向上に努めた。

1 事業費

	総事業費	補助基準額	財 源 内 訳	
			県補助金	市 費
隣 保 館 運 営 事 業 費	24,762,644 円	25,476,416 円	16,799,000 円	7,963,644 円

2 事業内容

事業区分		朝熊市民館		大久保市民館		黒瀬市民館		計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
相 談 事 業	人 権 相 談	0	0	0	0	0	0	0	0
	職 業 相 談	0	0	0	0	0	0	0	0
	教 育 相 談	0	0	0	0	0	0	0	0
	福 祉 相 談	1	1	0	0	2	2	3	3
	生 活 相 談	2	2	0	0	9	9	11	11
	健 康 相 談	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他 相 談	0	0	0	0	0	0	0	0
講 座	福 祉 介 護 講 座	3	46	—	—	4	113	7	159
	成 人 学 習 講 座	5	129	—	—	3	107	8	236

3 成人学習講座詳細

項目 館・回	開催日	場 所	テーマ	講 師	参加 人数	
朝熊市民館・ 大久保市民館	第1回	元. 7.16	緑が丘公民館	犯罪から身を守るために	危機管理課防犯アドバイザー 猿木 昭吾さん 伊勢警察署生活安全係長 政光 孝さん 生活安全協会事務局長 中村 茂さん	人 16
	第2回	元. 9.27	朝熊ふれあい会館	男女共同参画ってなあに？	NPO 男女共同参画 れいんぼう伊勢	47
	第3回	元.10.29	朝熊市民館	愛・平和のメロディー	高村 勝さん 阿部 暖さん 西川 牧子さん	26
	第4回	元.11.13	鹿海町公民館	こどもたちを守るために	南勢志摩児童相談所家庭児童支援課 近 正樹さん	23
	第5回	2. 2.21	一字田町公民館	人権小喃	伊勢市社会福祉協議会ボランティア 講師 坂根 八郎さん	17

黒瀬市民館	第1回	元. 6.21	黒瀬町公民館	女性の人権 ～世界の女性を手掛がかりに～	元皇学館大学教授 山田 やす子さん	人 38
	第2回	元. 7.26	黒瀬市民館	新時代へのメッセージ ～障がいを考える～	元小学校校長 西川 恒夫さん	26
	第3回	元. 8.28	下野公民館	チェロを聴きながら 人にやさしく	高村 勝さん (チェロ) 奥田 信江さん (ピアノ)	43

4 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
黒瀬町 地内	黒瀬市民館 下水道接続工事	排水設備工 16.2m	円 990,000	2. 1.22	2. 3.21

(注) 下水道建設課施行

○ 非核平和推進事業

1 非核・平和第41回空襲展の開催

市民の空襲の記録を収集し、展示することによって、核兵器の廃絶及び軍備縮小並びに平和を広く訴えるため、空襲展実行委員会に参画し、8月17日・18日に、ハートプラザみそのにおいて、非核・平和第41回空襲展を開催した。

当課の企画として、平和祈念の折鶴作成コーナーを実施した。

主な催し物・・・映画上映、平和紙芝居、演劇、戦跡めぐり、すいとん汁試食コーナーなど

主な展示物・・・伊勢空襲の記録・写真、焼夷弾、戦時中の生活用品など

2 原爆被災ポスター展

原爆被災の実相を伝え、戦争や核兵器のない未来をつくることをめざして、広く市民に平和の尊さを訴える原爆被災ポスター展を7月22日から8月2日まで本庁と二見総合支所で、8月5日から8月15日まで御菌総合支所と小俣総合支所で開催した。

3 非核平和都市宣言折り鶴

市内各市立中学校の生徒代表による広島平和記念式典への参加にあたって、各校生徒が平和への祈りを込めて作る千羽鶴用に、伊勢市非核平和都市宣言文を印刷した折り紙用紙を提供した。

(10校×1,200枚)

また、原爆被災ポスター展、非核・平和第41回空襲展の折鶴コーナーでも活用したほか、市内図書館・いせトピア等にも配布した。

4 日本非核宣言自治体協議会

日本非核宣言自治体協議会では、核廃絶を求める内容の決議を行った自治体が連携し、平和関連事業を実施、また、核実験を行った国に向けて抗議文書を送るなど、核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて様々な事業を行っている。当市においても、協議会の趣旨に賛同し、協議会に加盟、

非核・平和推進に向け、活動に協力している。

(非核宣言自治体総数 1,650 自治体、内、協議会会員自治体数 342 自治体：令和 2 年 4 月 17 日現在)

令和 2 年 2 月 7 日に日本非核宣言自治体協議会の第 2 回役員会、研修会及び設立 35 周年記念事業の平和コンサートをシンフォニアテクノロジー響ホール伊勢で開催した。

- ・研修会「伊勢と第五福竜丸」

1954 年マーシャル諸島ビキニ環礁でアメリカが行った水爆実験により、被ばくした遠洋マグロ延縄漁船「第五福竜丸」の改装を行った株式会社強力造船所、現在の株式会社ゴーリキの会長 強力 修氏に当時の第五福竜丸の改装工事を行った際の講演を行った。

- ・平和コンサート「イルカほのぼのコンサート」

日本非核宣言自治体協議会 35 周年記念事業として、著名な講師による講演会を開催することで、一般市民に向けて被ばくの実相を伝え、平和の大切さを考える機会を提供すると同時に、協議会の活動を広く周知する目的でシンガーソングライターのイルカさんによるコンサートを開催した。

5 平和首長会議

平和首長会議は、世界の都市が緊密な連携を築くことによって、核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起、核兵器廃絶を実現にむけ活動するほか、人類の共存を脅かす諸問題の解決、環境保護等、世界恒久平和の実現に寄与することを目的とし、この趣旨に賛同する都市（自治体）で構成された機構であり、当市も趣旨に賛同し加盟し平和行政を進めている。

(平和首長会議加盟総数 世界 163 か国・地域 7,905 都市（内、日本国内 1,733 都市）：令和 2 年 5 月 1 日現在)

6 「国際平和デー」の周知

- ・国際平和デー「鐘の音とともに祈りを」

国連が定めた『国際平和デー』に合わせて、9 月 21 日正午から、「鐘の音とともに祈りを」と題して市内の寺院や教会等の協力を得て鐘を鳴らし、平和を感謝し、恒久平和を祈念する取組を実施した。（寺院や教会等 104 か所に参加依頼）

- ・国際平和デーイベント「平和へのねがい 2019～ハンドベルの音色にのせて～」

国際平和デーの周知に向けた取り組みとして、第 1 部では伊勢少年少女合唱団による合唱を行い、第 2 部では、金城学院大学のハンドベルクワイヤによるハンドベルの演奏を行った。また、ハンドベルの演奏に加え、地元の伊勢少年少女合唱団も参加しハンドベルと歌声の共演を行った。（参加者 280 名）

○ 人権学習事業

市民が人権尊重の精神をもとに人権問題を正しく認識し、自らの課題として解決できるよう啓

発活動の積極的な推進に努めた。

1 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会事業

市内各小学校区において、自治会長（区長）、民生委員、人権擁護委員、学校長などが委員となり人権啓発活動を行っている 22 の人権・同和教育推進連絡協議会へ、委託金を支払い、活動の支援を行なった。

2 第 14 回伊勢市人権を考える市民の集い

人権問題の正しい理解と認識を広めるため、市民、教職員及び市職員を対象に、令和元年 7 月 30 日、スマイリーキクチさん（お笑い芸人）を講師に招き、「インターネットと人とのかかわり合い～突然、僕は殺人犯にされた～」をテーマに、ハートプラザみそので講演会を開催した。

（参加者 280 人）

3 伊勢市人権講演会

人権に対する正しい理解と認識を広めるため、令和元年 12 月 14 日、大場 久美子さん（女優）を講師に招き、講演「差別や偏見のない人権を尊重した社会づくりの大切さ」をいせトピアで開催した。（参加者 280 人）

4 第 5 回 ISE HUMANRIGHTS MOVIE JAM（いせ人権映画祭）

人権をテーマとした自主制作映像作品を全国の幅広い年齢層から募集し上映することにより映像制作・鑑賞を通して人権に対する意識の啓発と人権感覚の向上をはかることを目的に映画祭を開催。コメンテーターに映画監督の瀬木 直貴さんを招き、11 作品の上映を、いせトピアにて開催した。（上映会参加者 210 人）

上映作品は下記のとおり。

作 品 名	団 体 名	
アウトイング	高田高等学校放送部	津市
想い	三重県立明野高等学校 放送部	伊勢市
こども町長	佐用町映画プロジェクト委員会	東京都
サイボーグ危機一髪	市川 良也	四日市市
さすがわが息子	映像 C U B E	松阪市
進路にある人権	三重高等学校放送部	松阪市
何気ないひと時	古谷 英稔	大阪府
フォレストライト	菰野ふるさと映画塾	菰野町
ふたり	桜丘高等学校放送部	伊賀市
私の好きと君の好き	三重県立伊勢高等学校放送部	伊勢市
私の夜の灯台の下	三重県立松阪高等学校放送部	松阪市

5 人権啓発講座

市内の小中学校の保護者及び一般を対象とし、人権に対する知識理解や人権感覚を身に付けた人材を育成することにより、その受講者が家庭はもとより各小中学校や各地域の人権推進の担い手となり、住みよい社会を築くことを目的として 4 回の講座を開催した。（延べ参加者 141 人）

各回の内容は下記のとおり。

	開催日	場 所	テーマ	講 師	参加 人数
第 1 回	元. 8. 25	御菌公民館	子どもの人権	びわこ成蹊大学客員教授 園田 雅春さん	人 34
第 2 回	元. 10. 20	御菌公民館	人権一般	元浜郷小学校校長 山崎 明彦さん	33
第 3 回	元. 11. 17	御菌公民館	人権落語	落語家 切磋亭 琢磨さん	43
第 4 回	2. 1. 19	御菌公民館	同和問題	京都府木津川市 加茂支所 支所長補佐 丸田 光昭さん	31

環 境 課

○ 環境全般

1 伊勢市環境基本計画及び伊勢市地球温暖化防止実行計画の策定

第2期伊勢市環境基本計画の計画期間が平成27年度から令和元年度までとなっていることから、令和2年度から令和11年度までの環境の保全に関する目標、基本的方向及び配慮の指針等について定める第3期伊勢市環境基本計画の策定を行った。

計画の策定にあたっては、計画の整合性、審議の一貫性、効率化等の理由から、環境基本計画を上位計画とする伊勢市地球温暖化防止実行計画を内包し、伊勢市環境審議会による答申を受けて策定した。

【環境審議会】

伊勢市環境基本条例第11条の規定に基づき設置

構 成：公共的団体等に所属する者でその団体の推薦を得た者9人

学識経験を有する者3人

その他市長が必要と認める者7人

会 長：中松 豊 氏（皇學館大学教育学部長・教授）

副会長：山村 直紀 氏（三重大学工学研究科准教授）

【開催実績】

回数	開催日	議事等
第1回	元. 7. 19	計画策定の進め方・方向性、市民等意識調査に係る審議
第2回	元. 9. 6	基礎調査結果の報告、計画の骨子に係る審議
第3回	元. 10. 24	計画（案）に係る審議
第4回	2. 1. 23	パブリックコメント結果概要、計画（案）の答申

2 環境管理システムの推進

平成20年度からISO14001の規格によらない環境管理システムを運用している。

市役所本庁舎及び各総合支所にて取り組む事務活動について、事務用紙使用量、可燃ごみ排出量、電力使用量、公用車燃料使用量（ガソリン・軽油）の4項目の実績把握を行うとともに、クールビズ等の取組及び意識啓発等を行った。

実績については、前年度と比較して、事務用紙使用量は増加し、可燃ごみ排出量、電力使用量、公用車燃料使用量（ガソリン・軽油）は減少となった。

3 環境啓発・環境教育の推進

（1）環境フェアの開催

市民の皆様へ、体験などを通して、環境の状況や取組等を知っていただき、環境意識の向上や市の環境施策への理解と協力を得ることを目的とし、令和元年10月6日に、三重県営サンアリーナ（メインアリーナ、サブアリーナ及び屋外広場）において、伊勢市環境フェアを開催した。

開催に当たっては、環境活動に取り組む事業所や団体、大学等の出展協力を得て、多様な体験等の企画を実施し、約 18,000 人に来場いただいた。

なお、福祉フェスティバル実行委員会（勤労者地域づくり等参画支援事業実行委員会）主催の「2019 福祉フェスティバル 勤労者ゆとり T・I・M・E y o u ・ ゆ う ・ 遊 i n g 」と同時開催。

（2）伊勢市環境会議

伊勢市環境会議は、伊勢市の環境保全・環境意識の向上を目的に、市民や企業の代表者、行政等により平成 25 年 4 月に発足した。毎月の例会において会員が知恵を出し合い、協力して啓発事業等を行っている。

実施日	事業名	概要	備考
元. 5. 26	勢田川ウォッチング	勢田川を身近に感じてもらえるよう、親子等を対象に、勢田川の名所や動植物等の観察会を実施した。	参加者 6 人
元. 6. 2	二見町神前海岸ごみ実態調査	南勢志摩地域海岸漂着物対策連絡会議主催の海ごみ実態調査に参加した。	
元. 6. 7	身近な水環境の全国一斉調査	水環境の全国一斉調査の一環として、勢田川の水質調査を行った。	調査結果 COD 6mg/L
元. 6. 6 元. 6. 13 元. 6. 17 元. 7. 22 元. 9. 17	環境出前講座 (小学生対象)	子どもたちが環境について学び、家庭での取組につながるよう、体験講座を実施した。 ・ごみの分別啓発 ・生ごみの水切り促進 ・水生生物による水質調査	参加者 佐八小 3 年生 15 人 佐八小 3 年生 15 人 豊浜西小 4 年生 21 人 中島小 6 年生 52 人 明倫小 4 年生 65 人
元. 6. 12 元. 6. 25 元. 6. 28 元. 7. 3 元. 7. 9 元. 7. 10 元. 7. 17 元. 7. 19 元. 9. 4 元. 9. 5 元. 9. 11 元. 10. 10 元. 10. 16 元. 11. 6 元. 11. 8	環境出前講座 (園児対象)	保育所・幼稚園の園児が楽しみ環境について興味を持ってもらえるよう、会員が紙芝居を実施した。	参加者 豊浜西保育所 77 人 御菌第一保育園 28 人 明野幼稚園 54 人 マリアこども園 19 人 保育所ゆりかご園 66 人 中須保育園 43 人 修道こども園 45 人 えがお保育園 66 人 保育所あけぼの園 78 人 ゆたかこども園 232 人 神社幼稚園 12 人 有緝こども園 97 人 浜郷保育所 78 人 有滝保育園 13 人 五峰保育園 26 人
元. 6. 17 元. 12. 9	勢田川浄化実験事業(EM 団子による水質浄化実験)	河川浄化実験として、微生物資材 (EM 団子) をヘドロに投入し、浄化効果を観察した。	参加者 第 1 回 19 人 第 2 回 17 人

元. 7. 7	勢田川七夕大そうじ	「勢田川を天の川に」をスローガンに河川浄化と環境意識の啓発として勢田川沿岸で清掃活動を実施した。	参加者 約 2,000 人
元. 8. 2	水生生物による水質調査	河川に親しむきっかけをつくり、水質浄化意識の啓発を目的に小学校児童向けに水生生物の生息状況による水質調査を横輪川にて実施した。	参加者 小学 4 年生 6 人
元. 8. 4	いせトピア子ども夏まつり	特定非営利法人まなびの広場が主催するイベントにて、ごみ分別クイズ、活動写真展示、リサイクル品の展示を行った。	来場者 1,539 人
元. 9. 2 ～ 9.30	環境会議の活動写真展示	環境会議の取組みを紹介するため、百五銀行伊勢支店のロビーに活動写真等を展示した。	
元. 9.17	勢田川浄化実験事業（二枚貝による水質浄化実験）	二枚貝の持つ水質浄化能力を利用した水質浄化実験として、しじみを勢田川へ放流した。小学生に二枚貝の生態を知ってもらうため出前講座を実施した。	参加者 明倫小 4 年生 65 人
元.10. 6	伊勢市環境フェア	三重県営サンアリーナで行われた伊勢市環境フェアにおいて、環境意識の啓発を目的に体験ブース等を出展した。	来場者 約 18,000 人
元.10. 6	MOTTAINAI（もったいない）ポスターコンクール	家庭でごみ問題について話し合うきっかけづくりとして、市内小中学校へ「3Rの推進」「ポイ捨て・不法投棄の防止」などをテーマに作品募集を行った。環境フェアにおいて受賞者への表彰式を行った。	応募作品 400 点 （受賞者 66 人）
元.11. 9	クリーンアップ活動	5月30日の「ごみゼロの日」にちなんで清掃活動を行うもの。令和元年度は「御大礼奉祝事業」に合わせて実施した。	参加者 約 300 人
元.12.15	みえ環境フェア	メッセウイング・みえで開催された、三重県地球温暖化防止活動推進センター主催の、みえ環境フェアに参画し鉛筆立てづくり、活動写真展示、水生生物クイズ等を行った。	来場者 約 5,000 人
2. 2. 2	エコ・クッキング教室	東邦ガス株式会社と連携し、生ごみを出さない、汚れた生活排水を流さない調理実習を行った。	参加者 10 人

(3) 皇學館大学との連携事業

皇學館大学と市は、文化・教育・学術等の分野で相互に機能向上を図るとともに、地域の活性化と人材の育成を図ることを目的に、平成 20 年 7 月 11 日に連携協定を締結している。

環境分野における連携として、市内小学校において昆虫を活用した環境に関する理科の出前講座を実施した。

また、令和元年10月6日に三重県営サンアリーナで開催した「伊勢市環境フェア」において、同大学の家庭科ゼミと連携し、食品と環境に係る啓発を行った。

【出前講座実績】

実施日	小学校名	学年・人数
元. 5.24	中島小	3年生 20人
元. 5.27	中島小	3年生 20人
元. 6.11	中島小	2年生 20人
元. 6.18	中島小	2年生 18人
元. 6.28	進修小	1年生 21人
元. 7.12	豊浜西小	1年生 28人、2年生 20人、3年生 29人、4年生 20人
元. 10.19	東大淀小	1年生 8人、3年生 14人、5年生 15人、6年生 16人

(4) 事業者における環境教育

事業者においては、事業者自らの企画による環境教育等が社会貢献活動として実践されており、各事業者が有する人材・学習教材となりうる資材の提供等の協力をいただくことで学習環境の充実を図るため、環境教育に関する協定書を締結している。

市内の小学校向けに環境出前講座等を実施し、また、令和元年10月6日に、三重県営サンアリーナで開催する「伊勢市環境フェア」に出展いただいた。

【協定年月日及び協定先】

平成23年9月30日 中部電力株式会社

平成27年1月26日 株式会社第三銀行

平成28年1月22日 横浜ゴム株式会社三重工場

【環境出前講座等実績】

実施主体	実施日	小学校名	学年・人数	概要
中部電力株式会社	—	—	—	令和元年度申込なし
第三銀行	元. 10. 3	進修小	5年生 23人	キッズ ISO14000 説明
	元. 12. 4	進修小	5年生 23	キッズ ISO14000 結果
横浜ゴム	元. 6.19	進修小	2年生 36	電気バス学習、工場見学、植樹体験
	元. 9.19	佐八小	3年生 15	電気バス学習、工場見学、植樹体験
	元. 11.18	大湊小	4年生 11	大湊海岸に関する講座
	元. 12. 3	大湊小	5年生 14	電気バス学習、工場見学、植樹体験
	元. 12. 6	浜郷小	3年生 49	電気バス学習、工場見学、植樹体験
	元. 12.10	御菌小	3年生 73	電気バス学習、工場見学、植樹体験

○ 地球温暖化防止対策の推進

1 太陽光発電普及促進事業

地球温暖化防止対策として、太陽光発電システムの設置を促進するため、設置に対する補助(6

万円/件)を行った。また、令和元年度中に事業着手したが、年度内に事業完了しなかった24件については、繰越対応とした。

なお、太陽光発電システムについては、固定価格買取制度により普及が進み、国の補助制度が廃止されていることから、伊勢市においても令和元年度をもって補助制度を終了した。

	補助額	交付件数	交付額合計
平成30年度からの繰越分	60,000円/件	44件	2,640,000円
令和元年度事業	60,000	72	4,320,000
計	—	116	6,960,000

	補助額	交付件数	交付額合計
令和2年度への繰越分	60,000円/件	24件	1,440,000円

2 エコドライブ講習会の実施

地球温暖化防止対策として、自動車から排出される二酸化炭素を減らすことが課題であり、そのためには、クリーンエネルギー自動車の普及とともに、自動車の使用方法の対策も重要であることから、燃費向上や安全運転の効果が期待できるエコドライブの普及を図るため、JAFと連携し講習会を開催した。

対象	開催日	受講者数
市民・職員	元. 5. 30	15人
	元. 6. 12	12
	元. 6. 26	13
	元. 7. 10	15

※市民21人、職員34人 計55人

3 電気自動車等のPR

(1) イベントにおける電気自動車の普及啓発

自動車メーカー等と連携を図り、様々なイベントで展示・試乗会等を行い、市民、事業者及び観光客等に電気自動車等の普及啓発等を行った。

実施日	事業名	概要	備考
元. 5. 3	第26回YOKOHAMAふれ愛まつり	電気自動車の展示・給電デモ	来場者 約 3,100人
元. 5. 11 5. 12	第40回伊勢楽市	電気自動車等の展示・給電デモ・試乗会	来場者 約 30,000 来場者 約 30,000
元. 10. 6	伊勢市環境フェア	ポケモン電気バス他電気自動車等の展示・給電デモ・試乗会	来場者 約 18,000
元. 11. 2 11. 3	第41回伊勢楽市	電気自動車等の展示・給電デモ・試乗会	来場者 約 50,000 来場者 約 40,000

(2) 啓発チラシの発行

電気自動車等のメリットや便利な使い方などの情報をわかりやすく一般の方にお伝えするために啓発チラシを発行し、イベントにて情報を発信した。

(3) 電気バスを活用した環境教育

三重交通株式会社が平成26年3月に導入した電気バス(株式会社ポケモンの協力を得て、

車両内外にポケモンのキャラクターのラッピングを施し「ポケモン電気バス」として運行)を活用し、電気バスの環境性能の紹介や地球温暖化防止について学習する講座を開催した。開催にあたっては、横浜ゴム株式会社三重工場が行う環境講座(工場見学・植樹体験)と連携して実施した。

また、ポケモン電気バスのラッピング更新(平成29年3月)から3年が経過することから、令和2~4年度を使用期間とする新たなラッピングに更新し、令和2年3月20日から運行を開始した。

(4) 災害時等における電気自動車による電力供給に関する協定

災害時において、避難所が停電した際の非常用電源として電気自動車を活用するため、日産自動車株式会社及び三重日産自動車株式会社、また、株式会社赤福と協定を締結した。

【協定の概要】

三重日産自動車株式会社により「LEAF to Home」(電気自動車から施設へ電力供給可能な機器)を伊勢市生涯学習センターいせトピアに設置(寄贈)し、台風等で施設が停電した際には、三重日産自動車株式会社及び株式会社赤福より電気自動車の貸与を受け、非常用電源として活用する。

協定①：日産自動車株式会社、三重日産自動車株式会社、伊勢市

協定②：株式会社赤福、伊勢市

【調印式】

- ・日時：令和元年5月29日
- ・場所：伊勢市生涯学習センターいせトピア

4 ノーマイカーウィーク(エコ通勤)の実施

平成24年12月に策定した「伊勢市地球温暖化防止実行計画」に基づき、毎月第3月曜日が属する週をノーマイカーウィークとして実施。

【取組内容】

- ・勤務場所、職種等に関わらず、全職員対象(ただし病院、消防の一部の職員は対象外)
- ・毎月第3月曜日の属する週に実施
- ・車やバイクを使わず、公共交通機関や自転車、徒歩、車の相乗りでの通勤を推奨

○ 生活排水対策の推進

生活排水処理施設の整備、生活排水対策にかかる啓発について計画的、総合的に推進することを目的に平成28年3月に「第2期伊勢市生活排水対策推進計画」を策定し、合併処理浄化槽の設置促進及び共同汚水処理施設の適正管理を推進している。

1 浄化槽設置整備事業補助金

合併処理浄化槽の設置を促進するため設置者に対し補助を行った。

(1) 下水道認可区域外

【新築及び単独処理浄化槽・くみ取りからの転換補助の内訳】

人槽	新 築			単独処理浄化槽・くみ取りからの転換			計	
	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計	交付 基数	交付 額計
5	千円/件 168	基 112	千円 18,816	千円/件 332	基 37	千円 12,284	基 149	千円 31,100
7	207	36	7,452	414	23	9,522	59	16,974
10-50	276	1	276	548	1	548	2	824
計	—	149	26,544	—	61	22,354	210	48,898

【転換（61件）のうち、配管、単独処理浄化槽撤去費用補助の内訳】

区 分	単独処理浄化槽・くみ取りからの転換		
	補助金限度額	交付基数	交付額計
配管	千円/件 60	件 61	千円 3,660
単独処理浄化槽の撤去	90	30	2,700
計	—	91	6,360

※単独処理浄化槽の撤去30件は配管と併せて補助

(2) 下水道認可区域内

【浄化槽設置補助の内訳】

人槽	新築及び単独処理浄化槽・くみ取りからの転換		
	補助金限度額	交付基数	交付額計
5	千円/件 110	基 9	千円 990
7	138	4	552
10	182	0	0
計	—	13	1,542

※下水道認可区域内においては、配管、単独浄化槽の撤去費用及び11人槽以上の浄化槽は補助対象外

2 共同汚水処理施設修繕工事補助金

住民が組織する団体が管理する共同汚水処理施設の適正な維持管理を促進するため、設置後7年以上が経過した共同汚水処理施設の修繕工事（当該修繕工事に要する経費が1件当たり30万円以上）を実施した管理団体に対し補助を行った。

団地名（人槽）	事業費	補助金額	事業概要
緑が丘団地 (2,138人槽)	9,132千円	3,000千円	ばっ気槽用送風機改築 生物ろ過用送風機改築 流入ポンプ改築
大倉うぐいす台団地 (1,400人槽)	919	306	ばっ気槽用送風機改築 調整用送風機改築 酸化ブロー改築
ふじが丘団地 (2,800人槽)	3,016	1,005	流入ポンプ取換 流量調整槽エア配管 中継槽汚水ポンプ取換 中継槽送風機配管取換
計	13,067	4,311	—

○ 公害対策事業

1 大気汚染調査

市内の大気汚染の状態を把握するため、三重県環境生活部が厚生中学校に設置（昭和63年3月測定開始）している大気汚染常時監視測定局による測定調査（二酸化硫黄、PM2.5、浮遊粒子状物質、オキシダント、窒素酸化物、炭化水素等）の結果について、市ホームページにて公表した。

(1) 光化学スモッグ発生状況

発令内容	回数	発生年月日
予報	2回	元. 5.24、元. 5.26
注意報	なし	—

2 水質調査

河川や幹線排水路及び海域の水質汚濁状態を把握するため、水質調査を行った。

(1) 水質調査実施状況

区分	調査対象	地点数	項目数	回数
河川	8	15	12	4～24
幹線排水路	5	7	12	4～5
海域	1	1	8	4

(2) 主な河川等のBOD調査結果

区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	環境基準
姫之橋（勢田川）	mg/l 3.0	mg/l 2.7	mg/l 3.9	mg/l 4.4	mg/l 5.2	5 mg/l以下
北新橋（勢田川）	4.6	5.0	4.5	4.9	5.7	5 mg/l以下
勢田大橋（勢田川）	3.3	3.9	5.0	5.5	6.1	5 mg/l以下
桧尻川合流点（勢田川）	3.2	3.7	4.9	4.7	5.7	5 mg/l以下
一色大橋（勢田川）	2.8	2.9	2.9	4.8	4.8	5 mg/l以下
中部幹線（勢田川）	5.4	6.9	5.6	13.0	6.1	—
南部幹線（勢田川）	2.8	2.1	3.4	3.9	3.9	—
有滝橋（江川）	1.5	1.5	1.2	2.4	3.0	—
大堀川橋（大堀川）	1.7	2.5	1.2	3.6	3.2	—
野垣外橋（汁谷川）	1.8	1.0	1.3	3.1	3.1	—
鮫川	2.7	1.7	0.8	4.2	3.8	—

※数値は75%値

(3) 海域のCOD調査結果

区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	環境基準
宇治山田港	mg/l 0.5未満	mg/l 1.2	mg/l 0.5未満	mg/l 0.5未満	mg/l 0.5未満	3 mg/l以下

※数値は75%値

3 騒音・振動調査

市内の騒音及び振動の状態を把握するため、環境騒音・道路交通振動について測定した。

(1) 環境騒音・道路交通振動調査

区分	地点数	基準適合地点
一般環境騒音	1	1/1
道路交通騒音	3	3/3
道路交通振動	0	0/0

(2) 一般環境騒音調査結果

測定地点	用途地域	地域類型	基準値		測定値
			昼間	夜間	dB
小俣町元町	第一種住居地域	A	昼間	55	53
			夜間	45	43.5

(3) 騒音調査結果（自動車騒音常時監視に係る騒音調査及び面的評価）

市内の主要幹線道路における環境基準達成状況を把握するため、騒音規制法第18条第1項の規定に基づき、自動車騒音の常時監視を行った。この調査は、道路環境の各種施策へ反映を図る資料として、環境省環境管理状況局自動車騒音環境対策課が配布する「面的評価支援システム」を用いて、評価対象路線における環境基準の達成状況を調査するもの。

路線名	測定地点	用途地域	地域類型	基準値		測定値
				昼間	夜間	dB
豊北港小俣線	小俣町元町	第二種中高層住居地域	A	昼間	70	64
				夜間	65	58
大湊宮町停車場線	馬瀬町	無指定地域	無	昼間	70	68
				夜間	65	60
大湊宮町停車場線	御菌町高向	無指定地域	無	昼間	70	68
				夜間	65	62

4 悪臭調査

公害防止とともに生活環境の保全を図るため、市内の特定地点（1件）において臭気調査を行った。

5 公害苦情等処理状況

市民から電話、窓口等により寄せられる身の回りに関する苦情について対応した。

区分		28年度	29年度	30年度	元年度
典型 7 公害	大気汚染	49	54	41	47
	水質汚濁	3	0	3	2
	土壌汚染	0	0	0	0
	騒音	3	2	1	3
	振動	0	0	0	1
	地盤沈下	0	0	0	0
	悪臭	1	2	5	10
小計		56	58	50	63
その他	草刈り・樹木剪定	138	129	115	117
	害虫	—	26	14	2
	動物（犬猫等）	51	17	49	40
	その他	31	65	112	135
小計		220	237	290	294
合計		276	295	340	357

6 公害関係法令に基づく各種届出受理業務

公害関係法令に基づき、事業活動を行う工場及び事業場、また、特定建設作業に対する各種届出の受理業務を行った。

(1) 特定施設に関する設置等の届出

区 分	30 年度			元年度		
	設置届	廃止届	その他	設置届	廃止届	その他
大気汚染防止法	件 8	件 5	件 6	件 3	件 2	件 8
水質汚濁防止法	22	7	19	12	3	12
騒音規制法	4	0	1	1	0	9
振動規制法	1	0	1	1	0	6
三重県生活環境の保全に関する条例関係	ばい煙	0	1	0	0	2
	粉じん	1	0	0	0	0
	騒音	3	0	1	3	6
	振動	3	0	0	0	1
揚水設備	3	0	1	0	0	0
ダイオキシン類対策特別措置法	0	0	1	0	0	0
計	45	13	30	20	5	44

(2) 特定建設作業に関する届出

区 分	30 年度		元年度	
	法 律	条 例	法 律	条 例
騒音	件 34	件 2	件 27	件 11
振動	15	1	23	2
計	49	3	50	13

(3) 伊勢市土地開発事業指導要綱第6条に基づく計画申し出にかかる協議・意見

区 分	30 年度	元年度
開発許可申請書に係る協議経過書	件 27	件 25
大規模小売店舗立地法に基づく届出に係る意見	1	0
計	28	25

○ 墓地関係

1 市営墓地管理

市営大世古墓地、大湊墓地及び小俣若山墓地を効率的に管理するため、業務委託等を行い墓地の環境整備を行った。

(1) 管理区画数

区 分	3.3 m ² 以下	3.3 m ² 超 6.6 m ² 以下	6.6 m ² 超 9.9 m ² 以下	9.9 m ² 超	計
大世古墓地	区画 956	区画 496	区画 90	区画 100	区画 1,642
大湊墓地	805	83	7	2	897
小俣若山墓地	1,213	0	0	0	1,213
計	2,974	579	97	102	3,752

※令和2年3月末時点

(2) 使用状況

墓 地 名	新規使用	返還	残数
大世古墓地	区画 3	区画 14	区画 142
大湊墓地	2	3	46
小俣若山墓地	11	12	17
小俣若山納骨堂	13	2	324
計	29	31	529

※令和2年3月末時点

(3) 業務委託

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
市営 大世古墓地	市営墓地管理業務 委託	埋蔵の立会い等	円 168,480	31. 4. 1	2. 3. 31
市営 大湊墓地	市営墓地管理業務 委託	埋蔵の立会い、 草刈等	486,000	31. 4. 1	2. 3. 31
市営 小俣若山墓地 及び納骨堂	市営小俣若山墓地 管理業務委託	埋蔵の立会い、 草刈等	441,997	31. 4. 1	2. 3. 31
伊勢市役所 環境課	墓地管理システム 運用保守業務委託	墓地管理システ ムの運用保守	470,880	31. 4. 1	2. 3. 31
市営 大世古墓地	市営大世古墓地除 草業務委託	空き区画及び通 路の除草	1,235,070	元. 6. 3	2. 3. 31
計	—	—	2,802,427	—	—

(4) 賃借業務

賃 借 名	賃 借 期 間	賃 借 料
墓地駐車場賃借料 (小俣若山墓地)	31. 4. 1～ 2. 3. 31	240,000

(5) 工事

施行場所	工事名	工事概要	金額	着手	完了
市営 大世古墓地	大世古墓地トイ レ改修工事	墓地内トイレの 水洗化	円 702,000	元. 6. 20	元. 7. 26
〃	市営大世古墓地 石柱切断工事	墓地内の石柱の 切断	93,500	2. 3. 10	2. 3. 17
市営 大湊墓地	大湊墓地門扉設 置工事	墓地内のフェン スに門扉を設置	99,000	2. 3. 20	2. 3. 30
計	—	—	894,500	—	—

(6) 墓地管理手数料収納件数及び割合

区分		収納件数	割合
口座振替		件 1,355	% 39.4
窓口 納付	コンビニ等	1,075	31.2
	金融機関・市窓口	1,014	29.4
	計	2,089	60.6
合計		3,444	100

2 共同墓地整備事業補助金

自治会等が管理する共同墓地の環境改善を図るため、自治会等が行った墓地整備事業に対し補助を行った。

区 分	事業費	補助金額	備 考
宮川町共同墓地	円 443,642	円 147,000	通路整備、焼香場整備
塚山墓地	901,638	300,000	フェンス等整備、道具保管庫整備
前山町墓地	662,904	220,000	フェンス等整備
小木町墓地	1,582,200	527,000	フェンス等整備
磯町墓地	755,000	251,000	給排水整備
竹ヶ鼻墓地	507,016	169,000	道具保管庫整備
天神・小町塚墓地	1,465,440	488,000	通路整備、フェンス等整備
西之坂墓地	858,000	286,000	フェンス等整備
灰之木原墓地	1,002,100	334,000	通路整備、階段整備
下長屋墓地	2,200,000	733,000	フェンス等整備
久志本墓地	690,800	230,000	通路整備
天神・小町塚墓地	1,499,300	499,000	フェンス等整備
計	12,568,040	4,184,000	—

○ 衛生・美化関係

1 防疫

生活環境の保全を目的に、ハチ防護服の貸出を行った。また、台風等により浸水被害があった場合に必要となる消毒液を希望する市民に配布した。公共施設等において動力2兼機による煙霧消毒を実施した。

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度
煙霧消毒	件 4	件 9	件 7	件 4
ハチ防護服貸出	58	46	41	33
台風等による消毒剤配布	0	960	0	21

2 公衆浴場に対する支援

市内にある公衆浴場の確保を図るため、伊勢公衆浴場組合を通じて、市内の公衆浴場5か所に集客用の物品支援を行った。

実施日	物品名	数量	金額
31. 4. 22	トイレットペーパー 指定ごみ袋	432 個 500 組	円 68,036
元. 5. 28	トイレットペーパー ボックスティッシュ	396 個 136 箱	69,708
元. 6. 21	トイレットペーパー ボックスティッシュ	432 個 128 箱	69,936
計	—	—	207,680

3 高麗広地区飲料水浄化施設等設置補助事業

高麗広地区においては上水道施設がないことから、良質で安全な飲料水の確保のために、自家用井戸や浄水施設等を設置した当該地区住民に対し補助を行っている。令和元年度の申請数は0件であった。

○ 犬・猫関係

1 狂犬病予防事務

狂犬病予防法に基づき畜犬登録及び狂犬病予防注射を実施し、飼い犬情報の管理を行った。

区 分		28 年度	29 年度	30 年度	元年度
登録数		頭 8,061	頭 7,484	頭 7,563	頭 7,523
新規	動物病院	241	271	254	239
	窓口等	148	156	163	174
予防注射接種数		4,775	5,090	4,608	4,696
獣医師等		3,682	4,096	3,675	4,172
集合注射		1,093	994	933	524

※令和2年3月末時点

2 犬及び猫の不妊手術費等の助成

犬や猫の適正飼育を促進するため、不妊手術費等の一部助成を行った。

区 分		助成額/件	29 年度		30 年度		元年度	
			件数	交付金額	件数	交付金額	件数	交付金額
犬	雄	円 3,000	件 86	円 258,000	件 94	円 282,000	件 91	円 273,000
	雌	4,000	96	384,000	108	432,000	106	424,000
猫	雄	2,500	218	545,000	243	607,500	230	575,000
	雌	3,500	307	1,074,500	273	955,500	279	976,500
計			707	2,261,500	718	2,277,000	706	2,248,500

3 飼い主がいない猫対策

猫と人が共生できる社会を目指すとともに生活環境の保全を図るため、地元自治会、伊勢保健所、三重県動物愛護推進センター（あすまいる）、公益財団法人どうぶつ基金と連携しTNR活動を実施した。

【TNR実施状況（三重県動物愛護推進センター実施分）】

区分	30 年度	元年度
実施回数	7	8
実施匹数	70	64

※TNR活動…飼い主がいない猫に対して、不妊去勢手術を行い元の場所に戻すことで繁殖を抑制し苦情や殺処分数の減少に寄与する活動

○ 水道法関係

水道法に基づく専用水道、簡易専用水道に関する届出、三重県小規模水道条例に基づく水道の届出について、届出受理業務を行った。

区 分	30年度		元年度	
	設置届	廃止届	設置届	廃止届
水道法（専用水道）に基づく届出	件 0	件 0	件 0	件 0
水道法（簡易専用水道）に基づく届出	1	1	2	0
三重県小規模水道条例に基づく届出	0	0	0	0

○ 伊勢広域環境組合

し尿等処理、火葬業務等について、伊勢市、明和町、玉城町、度会町で構成する伊勢広域環境組合で衛生的、効率的に行った。

業 務 名	施 設	構 成 市 町
し尿等処理業務	クリーンセンター	伊勢市、玉城町、度会町
火葬業務	斎場	伊勢市、明和町、玉城町、度会町

(1) 分担金の推移（伊勢市分）

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度
クリーンセンター	千円 206,291	千円 188,389	千円 177,067	千円 196,279
斎場	39,779	45,975	51,833	53,938

(2) 分担金内訳（伊勢市分）

区 分	クリーンセンター	斎 場	計	備 考
共通経費	千円 2,781	千円 548	千円 3,329	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	191,289	37,735	229,024	実績割 100%
建設経費	-10,470	15,655	5,185	平等割 10%、人口割 90%
公債費	12,679	0	12,679	元利補給金
計	196,279	53,938	250,217	—

(3) クリーンセンター処理実績の推移

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度
総処理量 (伊勢市・玉城町・度会町分)	t 48,584	t 47,297	t 45,229	t 44,339
内 伊勢市分	40,030	39,712	37,676	37,248

(4) クリーンセンター処理状況

市内のし尿等の収集運搬について、し尿収集運搬業・浄化槽清掃業許可業者数8社による許可車両37台（本許可車両26台、予備車両11台）で対応した。

月分	処理量（伊勢市・玉城町・度会町分）			
		内 伊勢市分	し尿	浄化槽汚泥
4	t 3,926	t 3,345	t 577	t 2,768
5	3,487	2,855	454	2,401
6	3,844	3,205	479	2,726
7	3,966	3,362	480	2,882
8	3,373	2,762	501	2,261
9	3,694	3,173	435	2,738
10	3,719	3,155	542	2,613
11	3,569	3,082	431	2,651
12	3,863	3,127	611	2,516
1	3,163	2,657	400	2,257
2	3,390	2,832	470	2,362
3	4,345	3,693	437	3,256
計	44,339	37,248	5,817	31,431

※端数処理のため合計が合わない場合がある。

(5) 斎場利用実績

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度
総利用数 （伊勢市・明和町・玉城町・度会町・管外）	件 2,113	件 2,185	件 2,142	件 2,104
内 伊勢市分	1,541	1,583	1,536	1,479

※胞衣汚物及び霊安室利用を除く。

(6) 斎場利用状況

区 分	明和町・玉城町・度会町	管 外	伊勢市	計
12歳以上の者	件 531	件 83	件 1,469	件 2,083
12歳未満の者	4	0	0	4
死産児	4	3	10	17
計	539	86	1,479	2,104
胞衣汚物	4件			
霊安室利用	9件			

○ 生物多様性保全活動の推進

市内においてもブラックバスやミドリガメ、アライグマ等の外来生物が多く見られるようになり、外来種が在来種の生息に悪影響を及ぼしていることを認識し対策を進める必要がある。生物多様性保全活動の一環として動植物の生息・育成状況の把握に努めるとともに在来種の保護を行う活動、特定外来種の駆除活動、啓発活動を実施した。

実施時期	実施事業名	概 要
元. 8. 15～9. 3	東池（黒瀬町）における池干し	希少生物の調査及び外来生物の駆除を目的に池干しを実施した。捕獲した在来種は西池へ移した。
元. 10. 6	生物多様性啓発	環境フェアにおいて、特定外来生物のはく製展示等、生物多様性について啓発を行った。

※生物多様性…多様な生き物が多様な環境に豊かに生息している状態

清 掃 課

○ ごみゼロ推進関係

1 「伊勢市ごみ処理基本計画」の推進

(1) 伊勢市廃棄物減量等推進審議会の開催

ごみ処理における施策取組状況や推進状況を報告し、意見をいただいた。

【廃棄物減量等推進審議会】

伊勢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第8条の規定に基づき設置

構 成：学識経験者（2名）、市民（2名）、事業者等（2名）、地域住民組織（3名）、
再生資源業者（1名）、関係行政機関（2名）

会 長：深草 正博 氏（皇學館大学 教育学部教授）

副会長：宮岡 邦任 氏（三重大学 教育学部教授）

(2) 啓発事業

ア 広報いせ及びケーブルテレビ「伊勢市行政チャンネル」による啓発

「MOTTAINAI～3R+リスペクト～」をタイトルに MOTTAINAI 推進事業の啓発（生ごみの水切り、雑がみのさらなる分別、食品ロスの削減など）を中心に、ごみの分け方・出し方の周知や、その時期に応じた内容の記事を、毎月15日号に連載し、ごみの減量・分別の啓発に努めた。

また、ケーブルテレビ「伊勢市行政チャンネル」でも同様の啓発に努めた。

イ キャラクターを使った啓発

子どもへのごみ減量・分別意識を高めるため、子ども向け環境学習や啓発活動に皇學館大学の学生と協働で作成した「ごみ分別PRキャラクター（かもしかのごみバスターズ）」を使用し、啓発グッズの配布や地域イベントへの着ぐるみ参加など、集客や注目度の向上を図った。

(3) 調査事業

市民が排出する燃えるごみの調査を行い、資源物の混入など分別状況を把握した。

ア 実施日 令和元年11月28日及び29日

イ 分別状況

品 目	割 合	品 目	割 合
生ごみ	% 36.6	段ボール	% 1.8
その他の燃えるごみ	31.3	布・衣類	2.6
雑誌・雑紙類	7.7	プラスチック製容器包装	10.3
新聞・折込チラシ	4.1	ペットボトル	1.8
飲料用紙パック	1.9	不燃ごみ	0.8
禁忌品	1.1		

2 ごみの適正処理

(1) ごみ排出量及び処理経費

ごみの減量・資源化のための分別収集を推進した結果、過去5年間のごみ排出量及び処理経費の推移は次のとおりであった。

ア ごみ排出量の推移

年 度	27年度	28年度	対前年度増減	29年度	対前年度増減	30年度	対前年度増減	元年度	対前年度増減
燃えるごみ	43,159 ^t	42,948 ^t	△0.5 [%]	42,604 ^t	△0.8 [%]	41,918 ^t	△1.6 [%]	41,506 ^t	△1.0 [%]
粗大ごみ	1,191	1,163	△2.4	1,287	10.6	1,260	△2.1	1,358	7.8
小 計	44,350	44,111	△0.5	43,891	0.5	43,178	△1.6	42,864	△0.7
資源物	6,333	5,992	△5.4	5,746	△4.1	5,913	2.9	5,844	△1.2
缶・金属類	999	911	△8.8	984	8.0	938	△4.7	911	△2.9
投棄場搬入量	582	660	13.4	593	△10.2	550	△7.3	576	4.7
合 計	52,264	51,674	△1.1	51,214	△0.9	50,579	△1.2	50,195	△0.8

※対前年度増減(%) = (当該年度 - 前年度) / 前年度 × 100

※投棄場搬入量は側溝土砂を含む。

イ ごみの各平均排出量

年 度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
各年度末人口 ^(人)	129,353	128,288	127,064	126,060	125,043
各年度末世帯数 ^(世帯)	54,554	54,787	54,913	55,202	55,615
総ごみ排出量 ^(t)	52,264	51,674	51,214	50,579	50,195
1日平均排出量 ^(t/日)	143.19	141.57	140.31	138.57	137.14
1日1人平均排出量 ^(g/人・日)	1,107.0	1,103.55	1,104.27	1,099.26	1,096.78
1日1世帯平均排出量 ^(g/世帯・日)	2,624.7	2,584.1	2,555.2	2,510.2	2,465.97

※各年度末人口・世帯数は町別統計(住民基本台帳)を引用

ウ 処理経費の推移

年 度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
処理経費	円 1,477,934,000	円 1,547,994,000	円 1,660,418,046	円 1,651,052,944	円 2,078,856,563
ごみ1t当りの処理経費	28,278	29,957	32,421	32,643	41,416
1人当りの処理経費	11,426	12,067	13,068	13,097	16,625
1世帯当りの処理経費	27,091	28,255	30,237	29,909	37,379

※処理経費は、毎年度環境省が実施している一般廃棄物処理事業実態調査で報告した数値(人件費、収集運搬・最終処分等に係る処理費、車両等購入費、ごみ処理委託料、組合分担金、各種委員会経費・補助金等に係るその他の経費を合算したもの。)

(2) 資源物の資源化

市内に設置した資源ステーション、資源拠点ステーション等で資源物の分別収集を行い、伊勢広域環境組合清掃工場等の中間処理施設へ搬入し、ごみの資源化を図った。

また、廃棄物投棄場に搬入されたガレキ類についても中間処理施設へ搬入し、ごみの資源化を図った。

なお、過去3年間の委託・売却量、その他の推移は、次のとおりであった。

ア 資源びんの委託量等の推移

年 度	委託量	無 色	茶 色	その他の色	計
	委託料				
29年度	委託量(kg)	442,820	325,940	160,810	929,570
	委託料(円)	90,778	260,100	143,281	494,159
30年度	委託量(kg)	416,150	310,230	168,450	894,830
	委託料(円)	83,230	243,220	156,153	482,603
元年度	委託量(kg)	388,420	283,460	158,690	830,570
	委託料(円)	72,812	296,527	220,804	590,143

イ その他資源物の委託量等の推移

年 度	委託量	プラスチック チック 製容器 包装	ガラス・く ずびん類	陶磁器類	乾電池	蛍光管	鏡	ガレキ類	小型家電
	委託料	kg	kg	kg	t	t	t	t	kg
29年度	委託量	885,090	166,200	231,350	27	22	5	69.23	177,490
	委託料	398,290	2,692,440	6,381,018	2,711,880	1,983,696	588,600	157,438	1,735,473
30年度	委託量	885,720	189,910	312,990	47	29	0	68.43	374,030
	委託料	434,002	3,691,850	8,788,759	4,720,680	2,648,430	0	211,516	6,051,912
元年度	委託量	897,620	204,750	306,930	45	21	0	285.91	188,810
	委託料	449,989	4,462,472	11,708,676	4,587,262	2,098,296	0	1,200,548	9,178,416

※ガラス・くずびん類とはガラス製の食器・板ガラス・割れた資源びんなどのこと。乾電池・蛍光管・鏡について、伊勢広域環境組合から提供を受けた委託量が概数であるため委託料は参考値。

※小型家電については、缶・金属類で分別回収し、ピックアップ方式により回収した。

ウ 紙類・布類の売却量等の推移

年 度	売却量 及び 売却額	新聞・折込 チラシ	雑誌・雑紙類	段ボール	飲料用紙 パック		布・衣類	計
					200ml以 外	200 ml		
29 年 度	売却量 (kg)	661,030	889,870	687,630	21,160	0	147,590	2,407,280
	売却額 (円)	4,627,210	5,339,220	3,438,150	126,960	0	147,590	13,679,130
30 年 度	売却量 (kg)	530,170	973,500	674,410	20,550	0	158,180	2,356,810
	売却額 (円)	3,911,359	4,772,060	3,455,511	126,011	0	162,595	12,427,536
元 年 度	売却量 (kg)	569,410	879,390	679,200	20,910	0	187,480	2,336,390
	売却額 (円)	3,861,697	5,050,304	3,558,481	125,763	0	183,660	12,779,905

エ その他資源物の売却量等の推移

年 度	売却量	ペットボトル
	売却額	
29年度	売却量	kg 275,100
	売却額	円 2,860,271
30年度	売却量	296,250
	売却額	861,505
元年度	売却量	298,410
	売却額	218,421

オ 資源化率の推移

年 度	29年度	30年度	元年度
資源化率	15.74%	15.67%	15.74%

※資源化率(%) = (再生資源回収団体の資源回収量 + 市の資源回収量) / (再生資源回収団体の資源回収量 + ごみ総排出量) × 100

市の資源回収量 = (市で回収した資源物量) + (粗大ごみ処理施設で選別した鉄・アルミ回収量)

なお、平成28年度から「土砂」の委託量を資源物量から除いた。

3 3Rの推進

(1) 生ごみの水切りに関する取組

家庭から出される生ごみの水切りを促進させるため、水切り器利用のモニターを募集し、アンケート調査や利用状況についてSNSで拡散してもらうことにより、生ごみの減量促進に向けた啓発を行った。モニターへは60名が参加し、うち6名がSNSへの投稿を行った。

(2) 食品ロス削減に関する取組

食品ロスをテーマとした謎解きゲームや食品ロスに関する子ども向けクイズ、展示及びアンケートを各種イベントにて実施した。また、市内でスーパーマーケットを展開している事業者7社及び三重県とともに、食品ロス削減に関する検討会「減らそに！いせの食品ロス協議会」を立ち上げ、賞味期限・消費期限の近くなった食品の廃棄を低減させる「すぐ食べるならつれてってキャンペーン」(10月30日から7日間)を実施した。また、全国408の自治体からなる全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会に参画し、先進的な取組・施策の情報収集を行った。

(3) 雑がみ類のさらなる資源化に関する取組

広報いせ3月1日号にて、令和2年度版ごみカレンダーとともに雑がみの分別に関するチラシを全戸配布した。また、過年度のごみカレンダーの残部を再利用して雑がみ回収袋を2,000枚製作し、本庁、各総合支所、各支所、清掃課の窓口で配布を行った。

(4) ごみ分別アプリ「伊勢市版 5374.jp」の利用促進

平成29年度に、宇治山田商業高等学校情報処理科生徒が伊勢市のオープンデータを利用して作成した「5374.jp」を令和元年度版に更新し、皇學館大学の倉陵祭での啓発や、令和2年度のごみカレンダーにQRコードを掲載するなどして、市民の利用促進に努めた。

・令和元年度 閲覧数平均 455.6回/月

(5) ごみ減量化容器設置補助金事業

生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入及び設置した市民・事業者に対し補助金を交付した。

ア 家庭用(過去3年間の推移)

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
29年度	件 54	基 59	円 1,034,400
30年度	40	43	715,600
元年度	43	44	871,900

イ 事業所用

平成28年度から令和元年度まで交付実績なし

※平成27年度から補助開始

(6) 廃食用油回収事業

地球温暖化防止と循環型社会の形成のため、ごみの減量化、資源化の推進事業として、市内全域を対象に廃食用油を回収し、再生利用を行った。

ア 廃食用油回収容器設置場所 計79か所

※資源拠点ステーション、小・中学校、中学校給食共同調理場その他の公共施設

イ 回収状況(過去3年間の推移)

年 度	廃食用油回収量
29年度	0 30,165
30年度	27,330
元年度	29,380

(7) ペットボトルキャップの回収

ペットボトルのキャップをプラスチック製容器包装として分別回収しているが、市民がペットボトルキャップ回収・寄附活動運動に協力していただけるよう、市内の資源拠点ステーション、各総合支所生活福祉課、各支所、清掃課にペットボトルキャップ回収容器を設置した。

ア 回収状況（過去3年間の推移）

年 度	重 さ	個数（約）	ポリオワクチン
29年度	kg 8,227.5	個 3,537,825	人分 4,113.8
30年度	10,146.0	4,362,780	5,073.0
元年度	12,048.0	5,180,640	6,024.0

(8) マイバッグ持参・レジ袋有料化の取組

地球温暖化防止と循環型社会構築を目指し、市民・事業者・行政が連携・協力して、マイバッグ持参運動を推進するためにレジ袋有料化の取組を行ってきたが、レジ袋有料化を法令で義務化する動きを受け、令和元年9月19日に「ええやんか！マイバッグ（レジ袋有料化）検討会」を解散し、その後継として、検討会を構成する事業者の一部により「減らそに！いせの食品ロス協議会」を上げた。

- ・レジ袋辞退率 91.1%（令和元年4月～9月）

4 排出環境の整備

(1) 廃棄物集積所設置補助事業

燃えるごみの排出場所の集積化を促進し、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱を防止し、市民の美化意識の高揚を図ることにより、市民の良好な生活環境を確保することを目的として、燃えるごみ集積所を設置した自治会等に対し補助金を交付した。

ア 交付状況（過去3年間の推移）

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
29年度	件 19	基 26	円 4,905,147
30年度	23	59	5,865,748
元年度	17	53	4,979,882

※利用世帯数に応じて補助金限度額の設定をして実施した。

(2) 廃棄物投棄場管理事業

ア 搬入状況

市民自己搬入分と公共関係搬入分として下記の搬入状況となった。

区 分	伊 勢			小 俣			計		
	車数	搬入量	手数料 収入	車数	搬入量	手数料 収入	車数	搬入量	手数料 収入
市民自己 搬入分	車 217	kg 73,818	円 204,960	車 122	kg 38,580	円 95,220	車 339	kg 112,398	円 300,180
公共関係 搬入分	659	462,663	—	4	820	—	663	463,483	—
計	876	536,481	204,960	126	39,400	95,220	1,002	575,881	300,180

イ 委託関係

埋立廃棄物の減量・資源化を推進し、廃棄物投棄場を適正管理するため下記の事業を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内	ガレキ類再資源化業務委託	引取量 ガレキ類 195.03 t 瓦類 87.74 t レンガ 3.14 t	円 1,200,548 【単価契約】 ◇ガレキ類 1,000 円/t (税抜) ◇瓦類 10,000 円/t (税抜) ◇レンガ 10,000 円/t (税抜)	元. 5.29	2. 3.27
朝熊町地内ほか	伊勢市廃棄物投棄場地下水等水質調査	6か所	748,000	元. 6.19	2. 3.13
〃	土砂再資源化業務委託	引取量 土砂 2,968.52t	58,776,696 【単価契約】 18,000 円/t (税抜)	2. 2. 5	2. 3.31
計	3件	—	60,725,244	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

ウ 工事関係

神宮周辺の交通渋滞対策において、既存の伊勢廃棄物投棄場用地をパークアンドバスライドの駐車場として利用していくため、投棄場施設を解体し、機能を移設するための工事を行った。

施工場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
朝熊町地内	(注) 伊勢市廃棄物投棄場解体移設工事	解体移設工事 一式	円 0 【契約額】 17,986,100 《清掃課》 [令和元年度] 0 [令和2年度] 8,844,880 《交通政策課》 [令和元年度] 0 [令和2年度] 9,141,220	元. 12.27	2. 6.30

(注) 令和2年度へ繰越。交通政策課より執行委任。営繕課施行。

5 啓発・教育の推進

(1) 廃棄物減量等推進員の配置

市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして63自治会より推薦された124名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。

(2) 再生資源回収事業奨励金

ごみの減量化を促進し、資源の再生化を図るとともに、ごみに対する市民の意識を高めることを目的に、自治会・PTA等再生資源の回収事業を行う団体に対し、奨励金を交付した。

年度	登録 団体数	交付 団体数	回 収 量					奨励金 交付額
			紙 類	布 類	金 属 缶 類	計	びん	
29年度	団体 169	団体 146	kg 2,059,318	kg 40,818	kg 59,694	kg 2,159,830	本 1,917	円 6,485,080
30年度	172	151	1,964,752	42,100	55,143	2,061,995	756	6,188,080
元年度	174	147	1,770,185	43,870	49,585	1,863,640	437	5,592,070

※1kg当たり3円、リターナブルびんについては1本当たり3円の奨励金を交付した。

(3) ごみの分別等についての説明会の実施

希望する学校・団体を対象に伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について、説明会を実施した。(説明会開催回数 延べ44回、参加人員 延べ1,739人)

(4) ごみカレンダーの作成

地区別ごみの収集日を記載した「令和2年度版ごみカレンダー」を65,000部作成し、広報いせ3月1日号と同時期に全戸に配布した。

(5) 伊勢市環境会議(ごみ関係)

ごみの減量化・資源化の推進を目的とした以下の事業に取り組んだ。

実施日	実施事業名	概要	備考
元.10.6	MOTTAINAIポスターコンクール表彰式	物や食べ物を捨てる前に“もったいない”と思う気持ちを持ち、ごみに出す前にもう一度考える行動ができるよう、子どもたちから広く市民にメッセージを発信してもらうため、市内小中学校へ「食品ロス削減」などをテーマに作品募集を行い、環境フェアにおいて受賞者への表彰式を開催した。	受賞者 計66名 (応募作品数 400作品)
元.11.9	ごみゼロ早朝清掃	天皇皇后両陛下がご来勢されるのにあわせ、ごみゼロ活動の一環として、御幸道路沿線の早朝清掃を行った。	参加者 約300人

6 不法投棄防止対策事業

(1) パトロール及び不法投棄監視カメラによる防止対策

不法投棄防止に対する啓発看板の作成及び配布・設置（26枚）とともに、パトロールや市内3か所に設置した監視カメラ（固定式・移動式）にて、不法投棄の未然防止に努めた。

(2) 不法投棄の通報への対応

市民等の通報を受け、現場で投棄物の調査を行い、投棄者を特定できれば警察と連携して撤去を要請し、再発の防止に努めた。投棄者が不明の場合は看板で啓発し、一定期間を経て、更なる不法投棄を招かないように投棄物を回収した。

なお、投棄場所が市の所有地(管理地)以外の場合は、土地の所有者(管理者)に連絡して対応を求めた。

ア 主な不法投棄物の回収状況（過去3年間の推移）

年 度	テレビ	冷蔵庫 冷凍庫	洗濯機 衣類乾燥機	エアコン	タイヤ	消火器
29年度	台 62	台 17	台 18	台 4	本 63	本 71
30年度	39	8	11	0	69	21
元年度	57	18	15	4	94	155

7 広告収入の推進

新たな財源の確保及び事業経費の削減を図るため、じん芥収集車両・ごみカレンダーにおいて広告主の募集を行い、企業広告を掲載した。

事 業 名	広 告 媒 体	広告掲載数	収 入 額
じん芥収集車両掲載広告事業	じん芥収集車両	台 4	円 564,000
ごみ減量・資源化事業一般経費	ごみカレンダー	枠 16	480,000
計	—	20	1,044,000

○ 路上喫煙対策

路上喫煙対策として、伊勢市路上喫煙対策審議会を設置し、「伊勢市を美しくする条例」の改正のあり方や「路上喫煙禁止区域」の設定を検討するため、審議会を開催（4回）した。

また、条例改正を改正し「伊勢市ポイ捨て及び路上喫煙防止条例」と名称を変更し、令和2年8月からの「路上喫煙禁止区域」の開始に向け、周知を行った。

【路上喫煙対策審議会】

伊勢市附属機関条例第9条（条例改正後は「伊勢市ポイ捨て及び路上喫煙防止条例第12条の2」）の規定に基づき設置

構 成：学識経験者（1名）、公共団体等の代表者（1名）、関係団体の代表者（3名）、関係行政機関の職員（1名）

会 長：筒井 琢磨（皇學館大学 現代日本社会学部教授）

副会長：扇本 みどり（三重県南勢志摩地域活性化局 環境室長）

開催日：令和元年6月14日（金）、令和元年7月10日（水）、令和元年10月28日（月）、令和2年2月20日（木）

○ 一般廃棄物収集関係

市内の一般廃棄物（燃えるごみ、資源物及び小動物の死体）を車両31台、収集人員39名の体制（一部民間委託）で収集を行った。収集した一般廃棄物については、伊勢市、玉城町、明和町、度会町の4市町で構成する伊勢広域環境組合、古紙業者及び民間業者へ搬入し処理を行った。また、ゴールドenウィーク（4月30日、5月2日）、ハッピーマンデー（年4回：海の日、敬老の日、体育の日、成人の日）、年末（12月30日、12月31日）について臨時収集を行った。

1 収集体制

（1）収集車両

所管している車両

4tパッカー	3tパッカー	2tパッカー	2tダンプ	2tパワーリフト
台 1	台 10	台 6	台 5	台 1
2tトラック	1tトラック	軽四ダンプ	軽四トラック	計
台 2	台 1	台 4	台 1	台 31

（2）収集人員

一般廃棄物の収集を職員39名の人員で行った。

（3）委託関係

資源物回収袋の洗浄及び補修業務を公益社団法人伊勢市シルバー人材センター、粗大ごみ収集運搬業務を民間業者に委託した。

また、旧伊勢市地区の資源物収集運搬業務の一部及び小俣町地区・二見町地区・御菌町地区の燃えるごみ・資源物の収集運搬業務の一部を、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法により定めた各地区の合理化学業計画（旧伊勢市地区、小俣町地区、二見町地区及び御菌町地区）に基づき、旧伊勢市地区の4業者、小俣町地区の2業者、二見町地区の1業者、御菌町地区の1業者に委託した。旧伊勢市地区及び二見町地区の資源物収集運搬業務の一部は競争入札により選定した1業者に委託した。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内	資源物回収袋洗浄等業務委託	回収袋の洗浄及び補修業務一式	円 12,268,891 【単価契約】 885～1,256 円/人日 事務費8%	31. 4. 1	2. 3. 31

伊勢市内 地	町内一斉粗大ごみ 収集運搬（その1） 業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬 業務委託（可燃系粗大ごみ） 一式	円 12,596,040 【単価契約】 321,000 円/日（税抜）	31. 4. 1	2. 3. 31
〃	町内一斉粗大ごみ 収集運搬（その2） 業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬 業務委託（非圧縮粗大ごみ） 一式	1,734,620 【単価契約】 43,000 円/日（税抜）	31. 4. 1	2. 3. 31
〃	町内一斉粗大ごみ 収集運搬（その3） 業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬 業務委託（金属混成粗大ごみ） 一式	4,277,160 【単価契約】 109,000 円/日（税抜）	31. 4. 1	2. 3. 31
〃	町内一斉粗大ごみ 収集運搬（その4） 業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬 業務委託（自転車）一式	6,278,400 【単価契約】 160,000 円/日（税抜）	31. 4. 1	2. 3. 31
伊勢市内 地（旧伊勢市 地区）	一般廃棄物収集運搬 （その1）業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託（プラスチック製容器 包装）一式	50,466,960	31. 4. 1	2. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬 （その2）業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託（ペットボトル） 一式	38,462,760	31. 4. 1	2. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬 （その3）業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託（燃えるごみ、缶・金 属類、プラスチック製容器 包装）一式	82,621,920	31. 4. 1	2. 3. 31
小俣町 地	一般廃棄物収集運搬 （その4）業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託（燃えるごみ、缶・金 属類、資源びん、紙・布類、 プラスチック製容器包装、 ペットボトル、ガラス・く ずびん類、陶磁器類）一式	70,632,000	31. 4. 1	2. 3. 31
御菌町 地	一般廃棄物収集運搬 （その5）業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託（燃えるごみ、缶・金 属類、資源びん、紙・布類、 プラスチック製容器包装、 ペットボトル、ガラス・く ずびん類、陶磁器類）一式	35,097,960	31. 4. 1	2. 3. 31
伊勢市内 地（旧伊勢市 地区）	一般廃棄物収集運搬 （その7）業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託（ガラス・くずびん類、 陶磁器類）一式	26,421,600	31. 4. 1	2. 3. 31
小俣町 地	一般廃棄物収集運搬 （その8）業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託（燃えるごみ、缶・金 属類）一式	13,407,000	31. 4. 1	2. 3. 31

伊勢市内 (旧伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬業務委託(資源びん、紙・布類)(旧伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬業務委託(資源びん、紙・布類)一式	円 67,333,880	31. 4. 1	2. 3. 31
二見町内 地区	一般廃棄物収集運搬業務委託(缶・金属類を除く資源物)(二見町地区)	一般廃棄物収集運搬業務委託(缶・金属類を除く資源物)一式	15,508,440	31. 4. 1	2. 3. 31
計	14件	—	437,107,631	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

2 燃えるごみの収集状況

(1) 一般収集

燃えるごみの収集については、市内全域を2地区(月・木曜日地区、火・金曜日地区)に分け、旧伊勢市地区を収集11コースにて週2回収集した。小俣町、二見町及び御菌町については、業務委託により同様に週2回収集を行った。

有料収集については、戸別に粗大ごみ等の収集を行った。

町内一斉粗大ごみ収集については、市内各自治会(区)の要請により年1回、収集を委託した。

早朝清掃、ボランティア清掃等に伴い発生するごみについては、随時収集を行った。

燃えるごみ		粗大ごみ		計	
延べ収集車数	収集量	延べ収集車数	収集量	延べ収集車数	収集量
車	kg	車	kg	車	kg
18,884	25,318,170	564	333,820	19,448	25,651,990

3 資源物の収集状況

缶・金属類、資源びん、紙・布類(新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類)、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス・くずびん類、陶磁器類について、市内を22地区(旧伊勢市地区16、二見町地区2、小俣町地区2、御菌町地区2)に分け、1,006か所の資源ステーションを設置し、プラスチック製容器包装は週1回、缶・金属類、資源びん、紙・布類、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類は月1回収集を行った。

乾電池、蛍光管については、資源拠点ステーションや市内公共施設の一部117か所で適時収集を行った。

区分	収集量	区分	収集量
缶・金属類	kg 861,901	布・衣類	kg 187,480
資源びん	993,580	ペットボトル	355,400
新聞・折込チラシ	569,410	プラスチック製容器包装	1,107,990
雑誌・雑紙類	879,390	ガラス・くずびん類、陶磁器類	35,030
段ボール	679,200	蛍光管	24,310
飲料用紙パック	20,910	計	5,714,601

※缶・金属類は、小型家電製品及び乾電池の収集量を含む。

4 資源拠点ステーションの開設状況

資源物の収集効率の向上を図るため、資源拠点ステーションを平成14年度から順次開設している。開設状況としては、令和元年度末現在で19か所（伊勢中央・宇治・船江・城田・中島・佐八・明倫・神社・厚生・早修・北浜・宮本・沼木・大湊・いせトピア・二見・小俣・御菌及び明野）を開設し、支所での管理のほか、公益社団法人伊勢市シルバー人材センター、地元自治会等にステーションでの受付等の業務を委託した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
船江4丁目 地内ほか	資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	円 9,925,885 【単価契約】 885~1,256 円/人日 事務費8%	31. 4. 1	2. 3. 31
宮後2丁目 地内	伊勢中央資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	1,900,000	31. 4. 1	2. 3. 31
宇治浦田 2丁目 地内	宇治資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	700,000	31. 4. 1	2. 3. 31
中須町 地内	城田資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	700,000	31. 4. 1	2. 3. 31
二見町三津 地内	二見資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	700,000	31. 4. 1	2. 3. 31
前山町 地内	宮本資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び整理	24,000	31. 4. 1	2. 9. 30
計	6件	—	13,949,885	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

(2) 工事関係

施設の安全対策及び維持管理のため、移設工事を行った。

施工場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町庄 地内	二見2-1資源ステーション移設工事	既設プレハブ庫移設 1棟	円 410,400	31. 4. 19	元. 5. 17
小俣町本町 地内	小俣資源ステーション移設工事	既設プレハブ庫移設 1棟	95,040	元. 8. 27	元. 9. 30
計	2件	—	505,440	—	—

5 一般廃棄物処理手数料

(1) 有料収集、小動物の死体の処理

粗大ごみ等の有料収集やペットとして飼われていた小動物の死体の収集について、手数料

を徴収している。

なお、所有者不明の猫等の小動物 492 体の死体の収集については、一般廃棄物処理手数料は徴収していない。

区分	手数料	
	件数	金額
粗大ごみ等	739 件	2,146,550 円
小動物の死体	54	55,020
合計	792	2,201,570

(2) 天災等特別な事由により発生した一般廃棄物の処理

火災及び風害被災者の収集については、一般廃棄物処理手数料の免除を行った。

区分	火災被害者	風害被害者	計
件数	9 件	2 件	11 件

6 伊勢市ふれあい収集事業

一人暮らしで一定以上の介護認定を受けている高齢者や身体が不自由な方など、燃えるごみや資源物を自ら集積所等まで出すことが困難な家庭に対し、燃えるごみ及び資源物の戸別収集を行う、ふれあい収集事業を実施した。(収集回数 52 回、収集量 6,520kg)

利用希望者の申請をもとに 4 回の審査会を開催し、4 件の審査の結果 4 件の実施を決定した。令和 2 年 3 月末現在において、34 件の収集を実施している。

○ 伊勢広域環境組合

伊勢市、玉城町、明和町、度会町の 1 市 3 町で構成する伊勢広域環境組合で、ごみの適正処理を衛生的、効率的に行えるよう努めた。

1 分担金内訳

区 分	伊 勢 市 分			備 考
	ご み	粗大ごみ	計	
共通経費	5,969 千円	1,409 千円	7,378 千円	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	410,577	96,815	507,392	実績割 100%
建設経費	473,776	—	473,776	平等割 10% 人口割 90%
公債費	185,771	—	185,771	元利補給金
清掃事業所負担金	3,405.7	—	3,405.7	
計	1,079,498.7	98,224	1,177,722.7	